



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、祖母が広島に住んでいて、この前、平和記念館に行き、祖母は「平和記念館」で「ピースボランティア」というボランティアをしているので説明してもらい、そこで原爆だんのむごたらしさを知りましたが、でも今日の原爆先生の特別授業を受講して、原爆は私が思っている以上にざんこくで、平和記念館にあったマネキンだけでも「こわい」と感じたのに、それはキライすぎているという言葉を聞き、実際の様子を想像してしまい、身ぶるってしました。私の祖母の父も原爆しょうでせくなると聞いています。それでも一瞬間で命をうばわれたり、原爆後遺しょうでせくなったり、心にも傷を負ったり、体にも傷を負ったりとたくさんのが苦しんでいるという事を心に留めておきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/1

原爆先生の話を聞いていると、話に吸い込まれていて、その様子を想像するけれど、それよりももっとひどいと思うとぞっとします。60kgのうち1kgが核分裂しただけであんなに、なってしまうのはこわいと思いました。ゴルフボール1個の大きさで死者14万人、死亡率40%にもなって、太陽よりも熱いというのは想像もつかないと思います。人間が人間の姿ではなくなると、うじ虫がわいて...というのは、経験した人しかわからないおそろしさだと思います。経験者がどんどん減っていく中、それを伝える人の話を聞けて良かったです。私は、最初、川の中など、水のあるところにいれれば良いと思っていたけれど、3000度もあるから、とうして蒸発してしまうとは思いませんでした。今日聞いた話は絶対に忘れないで、これから生かしたいと思います。また、戦争について書かれた本を読んでみたいと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/1

今日は私たちの学校へ来てお話をしてくださり
ありがとうございました。原爆について90分間も
深く考えたのは初めてで、貴重な時間でした。
原爆の威力がどれほどのものなのか、原爆がヒ
ロシマ・ナガサキにどんな惨害をもたらしたの
か、そして私たち人間に、どのような被害をおよぼ
したのか、私は先生の話を夢中で聞いていました。
そして、想像していました。原爆が投下されたあとの
ヒロシマの様子、家族を亡くした人の気持ち、
体に大やけどを負った人の痛み、放射線
の被害にあつた人の苦しみ、そして原爆を落と
したアメリカの人々の思わくは何だったのか。
ある程度想像できるものもあれば、想像のつ
かないものもありました。だから、勉強して様々
な知識を得ることが大切だと思います。私がこ
れから知識を得るにつれて、目をそむけたくなる
事実がでてくるかもしれませんが、目をそむけて
はいけません、忘れてはいけません、という意識をもち、
勉強します。貴重なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私が今日、特別授業を受講して、学んだ事
おどろいた事は主に3つあります。

1つ目は、リトルボーイについてです。今日で「リ
トルボーイ」という名前も初めて知れたし、何
より、投下目標地から200mしかはなれてい
なかったなんて、とても正確でおどろきました。

2つ目は 候補都市です。私は、アキリ広島
と長崎だけかと思っていたのでおどろきました。
また、天候などで、投下するかしないか決
めるのは、とてもとつ然でこわいと思いました。

3つ目は、九日間の事です。自分たちで原爆
がこわいののに、爆心地に行き、仕事をしてい
たのは、すごいことだと思いました。また、原爆
の温度が7000℃もあり、そのせいで直接
爆発にふれていなくても何の罪の無い人が
一瞬にして消えてしまうのは、あまりにも
かわいそうでおそろしいと思いました。

今回改めて原爆について知れたのでこの機
会に、もっと調べてみたいのです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の授業で、あらためて原子火暴だんのおそろしさを学びました。

火やけいを負い、少しでもふれたりすると皮膚がとれてしまうという話を聞いているとき、とてもかわいそうな気持ちになりました。

被爆者や、死者がたくさん出るのに、なんで原子爆だんを落とすのか、きもんでいっはいです。

そのようなことを表しているのが、「原爆ドーム」なんだと、あらためて思いまふ。「原爆ドーム」は、火暴心地に近く、鉄骨だけのマツた。と話しでもありました。広島に住んでいた人たちは、どのような思いでいたのか想像して、これから生活していきたいと思いまふ。

今回の授業で、学んだことを生かしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、ずっと原爆とは「被爆中やけどの被害をもたらした」と思っていました。それは自分でも正しいと思いますが、戦争にあつた人々の細かい所を知ることにはできませんでした。しかし今日、本当に色々な事を知りました。特におどろいたのは、太陽の表面温度6000度を原爆は軽くこえてしまうということでした。それを知って、今幸せに暮らしている私たちが、「やけどで黒くけだなんて口にするレベルでは無い」と思いました。また、私は料理で少し火が大きくなるときや、地震で少しゆれたときなどでもこわがる生活を送っています。そんな私たちに、戦争の時代に生きた人々の気持ちや痛みを分かってあげられるわけがありませんが、昔のことをもっと知り、その人たちの思いを想像できるように人になりたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は原爆のことを教えてくれてありがとうございました。

ほくは授業のときに調べていてひはくした人たちがどのようななかは、本でみていました。そのときほくはなぜ罪がない人たちがひはくでなくなるといけないのかと思いました。またそのひはくなどが原因で何年後かになくなってしまった人たちのことを考えると、とても悲しく思いました。また先生が説明してくれていましたがもし雲のきれめかできていなければ何人も人の命がなくなることだとほくは思います。ほくはきっと原子爆弾がおちてきたときそこにすんでいた人たちはなにをかかえていた人だろうけれどほくはそんな考えるひまもなく、いっしょですべてをかきえてなににかおこたかみみんあわからなかったと思う。ほくはこのまうななにも罪もない人たちがまきこまれるのは、本当にかないと思ひます。またこのけいけんはほくたちがほう力をなくしていくことかまず最初の一步だと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/

原爆のことをいろいろ学んでくれたさしあ
りかとうございました。ぼくは戦争のこ
とを学んではいけれど、原爆のことはあま
り分かりませんでした。しかし、池田先生の
言話をきいて一々思ったことがありました。それ
は、本当にその時にいた人しか分からないこと
がたくさんあるんだとぼくは思いました。

例えば、ひばくした人が
「おい隊さん 目かけてください」
と声をかけてくれる人がいたということにとってもお
どろきました。

そしてこの言話のおかげで自分も人の役に
立てる人になりたいと思いました。小さいこ
とでもいいからコツコツと積み上げていき、最
後は人を目かけられればいいなと思いま
した。

池田さん 本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

げんぱくのひさんさやその時の
 じょうきょうがし木しよかったです。
 助けようとして皮がはがれたりし
 て、かわいそうだと思います。
 げんぱくをおくよこいちが3カ所
 もあったなんてはじめてしりました。
 ドラム缶の後ろで全員生き延びたのは
 とてもすごいきせきたなと思いまし
 た。死臭もしていて、やりたくなかつた
 のに、よくがんばってやったなと思
 いました。うじ虫をふつうにみた
 り、包帯とかもっていて、おもかったと
 思うけど、がんばっていったんだなあ
 と思います。いまその本がうってい
 ないというのが、とてもざん
 ねんです。あ、たら、よんでみたか
 ったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田貞徳先生の特別授業を受け
てみて、まず思ったのは今の世の中は
戦争などがなくて平和だなと思った
ことです。原子爆弾が落された広島
と長崎は、たくさんの被害を受け死ん
でいった人は、広島では14万人もなので
戦争を今していなくて良かったと思っ
ました。原子爆弾投下都市の条件で
直径5kmを起えるというのはとても
ひどいと思いました。なぜなら、せかく
の大きな都市も爆弾でただのほろ
びた町になってしまうからです。なぜ爆弾
を投下させ、せい者をこんなに出す意味
があるのか今回の話を聞いていて疑問
に思いました。実際に原子爆弾という
ものを体感していなくても、その時の
様子が頭に映し出されるくらいそこ
にいた人たちの気持ち分かることがで
きたのでこの気持ちを後世へ伝えていま



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

私は原爆先生のお話を聞いて戦争はものすごくこわいなとあらためて感じました。一番心に残ったことは、ゴルフ球の大きさの爆たんでも、1kgもし、それだけでも焼けてしまうと聞いて爆たんはこわいなと思いました。爆たん1kgで町は300℃にもなるのがおどろきました。町が鉄としてしまうほどのあつさになるのは、人間が焼けにけてしまうことはあたり前のことだと思いました。でも戦争はなにかが川が川が流れてきたので、その戦う勇気のある戦争時代の人は強いなとも思いました。東京スカイツリーの第二展望台の高さあたりに100℃もするものがある。たまたまたり太陽がそのあたりにあるのと同じときまでともなりました。それほどの町はあつさくらくらくするくらいで戦争の大変さが分かりました。体中の水分が蒸発するのでもこわいなと思いました。私は身体中に家で（おたし）のものをみました。それを見れば、なんてこわいことをするのかなと思いました。自分が死んでしまうかもしれないのに...こわいなと思いました。

すこしいと思ったことは京者附は最初候補に上げられていたけれど、じょがりされたことです。京都には世界遺産ない大七かなものかたくさんあるから、爆たんをぶつけてさなりとせめたことは、日本の文化を大切にしたいあけおしうららに思った人がいたからだと思います。これから戦争に入っていく315調でたりして、戦争のこと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

1/1

ぼくがこの話を聞いて思ったことは、言っても伝えきれないことがあると
 いうことが分かりました。トラックの荷台に人をのせるときに手をつかんだら、ひ
 ふかべのりとれたりしたということは、決して言葉だけでは伝えきれな
 いぐらいだと思います。自分かもしも池田さんだったらどういう行動をと
 ったことでしょうか。にげだしたかもしれませんし、その人達をほおっておい
 たのかもしれません。ですが池田さんはけしてにげず一人でも救
 おうと努力していたというお話をうかがってすごいと思いました。もう一つ
 びっくりしたことはスカイツリー第二展望台の高さに太陽があったのと同じ状
 態だったことです。周りの熱さは7000℃というものすごい熱さだったと思
 います。天候が悪かったら原爆も落とさない、そう決めていたアメリカなのにな
 せ長崎に落としたのが気に入りました。空の切れ目がなければこんなこ
 とにならなかつたのだれもが思わずにはいられないと思います。東日本大
 震災というあの大きな地震では死者、行方不明者合わせて約2万です。原爆
 が落とされて一瞬でなくなった人は約2万人といわれています。あんな
 に大きな地震でも、原爆で一瞬でなくなった人の人数と同じとな
 ると原爆のおそろしさをあらためて分かりました。リトルボーイの重さは5tで
 す。すごい重さだと思います。そんなものが落ちてきたらあとかたもなくなるとい
 う。ということはアメリカの人達も知っていたはずですが、知っていても昭和20
 年8月6日午前8時15分に投下したということは悲しいことです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

私が一番、原爆先生のお父さんの話が心に残りました。その中でもやけどをして皮膚がぼろぼろになってしまった人々の話が心に残りました。私は、池田さんが話してくれた、「うてを引張ると皮膚がとれて、なんとも言えなかった」ということを聞いて、とてもこわかったです。なぜなら、自分がもしも、そんな体験をしたら、と考えてみたからです。私も体験したら「助けて…兵隊さん」と言うと思います。

私はおとしに広島へ行きました。8月の前は行って、資料館にも行きました。うてから皮膚がたれさがっている人形を見てびっくりしました。でも本当にこんな人がいたんだと思うとかわいそうです。

亡くなってしまった池田さんのお父さんにもこの気持ちが残っていました。↓

“外国の人は、死者をたくさん出してまで、原爆を落とすことになってしまったのか”と



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、今回、原爆先生の話を知り、原爆のこわさを改めて実感しました。

私は、この授業を受けるまでは、「原爆は、昔、広島と長崎に落とされて、多くの人々が亡くなった」ということぐらいしか知りませんでした。でも、この授業で、原爆先生のお父さんが実際に体験したときの日記にかかれていたことを聞いて、原爆のこわさが分かりました。私は、原爆先生が日記についての話をされているとき、正直、余り聞きたくありませんでした。道ばたにたくさんの人がたおれているところなどを想像すると、なみだが出てきそうになります。でも、そうやって「実際」に話を聞き、「想像」をすることがこれからの世界にとって必要なことかなと思いました。

私は、この授業で、実際に話を聞き、そこに自分かいたらどうなるかなどを想像をして、原爆のおそろしさはよく分かりました。だから、この経験を無駄にしないように、原爆をなくするにはどうすればいいかなどを考え、行動に移していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、今回の授業を受け、原子爆弾はいつ投下されても何一つ悪いことがなく、逆に幸せをうばうものだと思ひました。

ぼくにと、て悲しいことは、原子爆弾たった1発で14万もの命が失なわれたことです。もしも2発だ、たらさらに10万を起える命を失われたかもしれません。そして、日本は世界で唯一原子爆弾が落とされた国ということが忘れられません。

「ヒロシマの9日間」では、原子爆弾が投下された後も苦しい作業に負われていた軍隊たちのことが心に残りました。辺り一面のがれきりも、見ただけで悲しくなると思ひます。

今回はこのように広島島の悲しくなる貴重な話をどうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けて、原爆
のすごさを知りました。授業を受けて
いるときに、何回も、そのときこんな
人だったのかなあとか想像をした
りました。写真を見たとき、原爆
がどのような被害をもたらすのが改
ためて感じました。天気が悪ければ
は落しされなかったかもしれません。
小倉はおばあちゃんとおじいちゃん
が生まれた場所です。おじいちゃん
が、長崎の人には感謝をしています、
何回もきかされました。なぜ、原子
爆たんをつかったのは、ほとんでは分か
りません。地上の人の様子が考え
られなかったのか。この授業で、決し
て原爆を使ってはいけないと思っ
ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは今回 お話を聞いて戦争はイヤだな
と強く思いました。なせなら前は特攻隊のこ
を調べてすごいへんな気持ちになったのに
それよりもっと小布い話を聞いたからです。
ぼくが思うに広島原爆は記念館のめいけい
をかわいりと言ったのはそれより本当のひは
く者の方が何倍もよそろしいからだと
思ったからです。この間学校で平和について
考えるという授業がありました。そのとき他の人
は原爆のこしやだま紙の地上戦のこ
を調べていて、そのときからアメリカはよとい
なと思っていたけどさらに昔のアメリカが
小布くなりました。ぼくの将来の夢は
プロ野球選手です。なので自伝したいの
はなカッゴイイプロ野球選手になり
たいです。ありがとうございました



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、京都が一番に壊られたと聞いて
とてもびっくりしたし、残念でした。けれど
重要文化財の建造物があったおかげ
で、爆撃されないでよかったです。思いました。
しかし広島の人々にとっては、変人で私たちが僕たち
が壊された。ならないだ！なんか悪いこと
でもしたのか！」と思ったでしょう。原爆の実験
台にされてぼくは、とてもくやしいと思いました。
くわしく言えず、たった1kgのウランに街一つ
を消されたということです。
太陽がスカイツリーの所まで来たということと同
じくらいの熱になった原爆の熱線。
人を遠くにふき飛ばすほどの衝撃波。
そして、人々を苦しめ病のもととなり殺して行く
放射線。ぼくはそんな殺人器を使うな
んとゆるせない。
そして、戦争なんてゆるせない。
改めて平和の大切さを実感した気がしました。
今日のことを活かして未来に伝えて行きたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日、改めて原爆のおそろしさを知りました。太陽の表面温度と同じ物が上空600mにあることを考えたとしても怖いですが、地上でも3000度もあるということを聞いてもどれたけ熱いかは分かりません。せいぜい夏の気温のおよそ35°くらいでも「暑い」と思うので、そのことを考えると3000度という温度の暑さが分かります。それとひふがとけて人間なのに人間じゃない姿をしていて「たすけて… たすけて… たすけて…」と自分が言われていることを考えた方が助けることも出来ません。何か何か分からなくなったり真ん中がこんがらがると感じます。今日聞いた話の中でも一番驚いたことは川の水が一目瞬でなくなってしまうということです。水の中なら大げんぷたかと思っていまいたがゆでたこみたいになら、死んでしまうということを知ったので、にげる場所がなかったのかなあと思います。いろんなこと(真実)を知れてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私が一番おどろいたのは原爆がおとされた所の
地面の温度が3000℃にもなると聞いたことです。
3000℃とは想像を絶するような高温だと思っ
ました。広島や長崎の人たちはこの温度にたえ切れず
川にとびこんでもふっとうしていたりしてゆであがっ
たようになってしまふときいて原子爆弾はこの世
にあってはならないものであると感じました。
人が原子爆弾を受けたら体中の水分が蒸発
し、灰のかたまりになって衝撃き波によって粉々
になってしまうときいた時思わず息をのみまし
た。自分の思っていた以上のことがあこっ
たとしりおどろきました。また、福島第一原子
力発電所では放射能とさげはれているのに
広島や長崎では被害がなかったか不思議に
思っていたけれど教えてもらえてよかったです。
日本も核兵器開発にとりこんでいたこと、湯
川秀樹が関わっていたことなど初めて知った
ことがたくさんありました。もっと勉強して
知識をつたたいです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1

すごく前半生々しかったけど、ちんちんな
れて、ことおがいついつ心にしました。すごく
先生のお父様はすごいと本心に本当に心にしま
しました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の授業で、実際に体験した人だからこそ分かるものがあることを学びました。日付けや時間、何が落とされたかなどは、体験していない私達にも本やインターネットを使えば知ることが出来ます。でも、そのじょうきょうはその場にいる人しか分かりません。仮にじょうきょうは知れても、その場にいた人の気持ちまでは分かりません。たとえ分かる人がいても多くの方はほう観者の気持ち「悲しい」「かわいそう」などです。でも体験者は私達の想像をはるかにこえた思いがあつたでしょう。このようにすべての思いを理解することは難しいと思います。でも、この授業をきっかけに平和でありつづける大切さを改めて感じる事ができました。体験者の方々の思いを無たにしないように、私なりに伝えていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日の原爆の話聞いて、改めて原爆のおそろしさを知りました。特にぞくとしたことは2つあります。1つは、熱線が爆心地の所で3000℃もあり、鉄もとけるということです。2つ目は、爆心地につれ、人間が人間ではなくなっていくということです。1つ目は、一人の男性がコンクリートの上にすわっていて、3000℃の熱線をあびるとまるで水蒸気かのようになくなり、かげだけかすみついているところがとてぞく、としました。2つ目は、大やけどでひき上げようとしてもずる、と皮がむけてしまうというところ。想像しようとしてきこれは体験した人にしか分からないなと思いました。これらのことを聞いて、原爆の被害を受けた人はほとんど死んでしまい、助けようとしても助からない。私が被害者にな、たとしたらと考えるととてぞくなりました。ここでようやく「平和」というものがとてぞだけいいことかということを感じ、今日の原爆の話 を忘れずにしたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆についてくわしく学び、一瞬にして数えきれないほどの尊い命が失われたということがとても悲しいと感じました。皆同じ人なのに、自分のために戦争をして、相手の国の人たちをこうげきし、命をうばっているからです。

被爆した人たちの痛みや苦しみを想像するだけで、体が震えてきました。2万人もの人間が、何があったのかも分からないうちに死んでしまったということに、すごく衝撃を受けました。そして、戦争なんかしたくない、絶対に嫌だ。そう思いました。

それに、「あのときこうしていたから助かった」「天気が悪ければ、広島や長崎は被害を受けずに済んだかもしれない」というふうに、偶然が多いことにも驚きました。

今日は、平和の大切さを改めて感じる事ができました。ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は 原爆先生の授業を受け、原子爆弾のおそろしさを改めて感じました。ゴルフボールぐらいの大きさの1kgのウランが、かくぶんれつをおこして広島全体をばかひさせたと聞いて、とてもこわくなりました。もし、もっとかくぶんれつをおこしたウランがたくさんあったら、被害がもっと大きかったと言っています。私は被害が実際より大きかったら日本はどうなっていたのだろうかと考えました。

他にも、原子爆弾の表面は太陽よりも1000℃ぐらい熱い約7000℃もあり、近くにいる人は一瞬のうちには体の中の水分が蒸発してしまいうまのかたまりになり、しまらうと聞いて、こんなにもおそろしい原子爆弾は二度と使ってほしくないと思いました。そして、うまもない人たちがなくなるようなことは絶対にしてほしくないを改めて強く感じる事ができました。今日の授業をこれからは生かしていきたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、2時間の間じっくり原爆
について考えることができました。
ありがとうございます。
話を聞いて広島はかわいそ
うだなと思いました。気候により
原子爆弾が落ちたからです。私た
ちは広島原爆のときは生まれていな
いけれど当時もし自分が原爆に巻
きこまれると知っていたらと考えたとき
死ぬこと前提に考え、まようふの時間を
過ごしていたと思います。原爆に巻きこま
れた人の中にももちろん亡くなられた方も
生きのびた方もいますが私はどちらも
関係なく伝えたいです。「おつかれさま」と。
私はこういう方々の気持ちを大切に今
以上の平和をつくっていきたいと思っ
ます。今日は本当にありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、最初原爆を、あまり知る事がありませんでした。しかし、今回の原爆先生の授業を受けて、知るまかいとなりました。それは、原爆がもたらしたありさまをくわしく知ったからです。

その原爆がもたらしたありさまで、一番おどろいたのは原爆の中心部が1万度もするという事です。太陽の温度は、6000℃で比べてみると、差は、4000℃になります。

この比べ方をすると、原爆の温度がどれだけすごいかわかるとおもいます。

私はこの様な原爆の事を原爆先生の授業で書ききれないほど学びました。本当は、あまり聞きたくない少し怖い話も、今日の授業を受けてたい心した様に、少しずつ現実と向きあっていきたいと思いました。また、二度とこの様な事をくり返さないために、授業の事を生かしていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今日の90分間で、「戦争のおそろしさ」を学びました。そして、「核兵器」は、絶対に使ってはいけないと強く感じました。核兵器を使い、戦争をすると、全く関係のない、市民が巻き込まれてしまいます。市民が、ぎせいになって、どのような得があるのか、私には分かりません。市民がぎせいになる、最大のこうげきが、原爆投下だと思います。何十万人もの命がいらしゅんにしてうばわれてしまうからです。そして、多くの人口が悲しみ、つらい思いをするはずです。それを考えたら、原爆なんて、おとせないはずです。「小さなみぞをうめようとして戦争をして、みぞは深まるばかり」これが、90分間の中で私が考えたことです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/1

私が原爆先生の特別授業を受講して、
思ったことは、原爆が落とされていた
のは2都市だけだが、候補に小倉、
横浜、新潟、京都があったことに
おどろいた。横浜は落とさない
と決まった次の日に大空襲があつたこと
を聞いてとてもおどろいた。
東京スカイツリーの第二展望台あたりに
太陽1つ分あるなんて私は熱くて
耐えられないと思った。衝撃波の方が
音よりも速く爆発して爆音がそのあとから
くるというのは考えられなかった。
その当時の広島県の人口が35万人で
被爆者数が24万人で死者数が14万人
死亡率が40%だということは
人口の約半分がなくなっているのが
かわいそうに思えた。
二度と戦争をしたくないと改めて
感じた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受けて、二つのことを感じ、学びました。

話を聞き、原爆が落ちて、極度の^{やけど}火傷をして、皮膚が焼け落ちるということを聞いた瞬間にゾクッとしました。それを知ったら、火傷をした人が言葉に言い切れない位かわいそうになりました。痛さのあまり泣き叫ぶ人のことを思うと、

もう二度と原爆を投下してはならないと思いました。

次に感じたのは原爆の恐ろしさです。原爆が投下されると、一瞬間のうちに人の体はとけて消えてしまい、かけだけが残るほどのい力がたった一発の爆弾にあるということです。そして、たった一発の原子爆弾で14万人もの死者が出たということです。重傷者もふくめると24万人です。今まではどの位死者が出たかということまでは知らなかったのであまりの被害の大きさにおどろきました。

なので、原子爆弾は絶対に使用してはいけません。ぜひ勉強して、原爆のことを学ぼうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今回原爆先生の特別授業を受講してみても、まず第一に原爆のおそろしさを実感しました。そして、その後、原爆は二度と使ってはいけないと思いました。なぜなら、原爆でしゅんかん的に亡くなった方もいたけれど、ひ爆して、その後も生きてらっしゃる方々は原爆しょうといて、重い病気にかかってしまうことも多いようです。原爆先生のお父さんもその一人だったそうです。こうして長い間、いやー生原爆のひ害にあつて、病気になつて、苦しまつて人々の気持ちを自分なりに考えてみました。ぼくが感じたことは、とにかくあの光さえあびなければ、とوراむ気持ちでいっぱいになりました。また、原爆先生のお父さんが見た風景はよそを向きたくなるぐらいひどかつたそうです。皮ふが熱線にやられた下がついてる人もたくさんいたそうです。

なので、ぼくは、後世で「原爆」というおそろしく後の時代までひ害にあつた人があるものを使ってほしくないと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話と聞いて、

私達が産まれる前、私達が暮らす、

日本でも とても悲惨なことが
おきていることを改めて知りました。

広島や長崎では、

罪のない人が、原子爆弾一つで

多くの人がかたくなり、また、たまたま

人でも、多くの後い症ばかり、

今でも苦しんでいる人がいることを
知りました。

太陽以上にあついものが

人のうえにおちたと考えたら、

とてもおそろしくなりました。また、

生きている人、苦しんでいる人も、男女の

区別がつかないほどのやけどをかい

死体などの処理も兵隊がやり、町は

一瞬のうちにほかにはなりました。

なので、あんな悲惨な戦争を

おこさないような世界平和をいひたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私の特別授業の一番の感想は「とても怖かった」
です。最初の方の本当にあつたことの話では
本当にこれがあつたのか、というほど残酷で
身震いがし、鳥はだかずとたっていました。
怖さと気持ち悪さといった感情が同時に
おそ、てきて足がこうちやくしたように動かなく
なりました。呼吸も苦しくな、てきん張して
いるのが自分でもよく分かりました。原爆の
事について説明されたときは胸の中が
どんな様子たつたのか想像がとまらずに
ぞ、としました。原爆のしくみについて説明され
たときは $\frac{1}{60}$ で広島を全かいさせるほどのいかつた
たのにこれが全て爆発していたら日本も
こわれていたのではないかと思つてしまいました。
原爆先生の話を知いて原爆の恐ろしさ、
むごさ、悲惨さが良く分かり平和への気持ち
を改たにすることができました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1
ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、「リトルボーイ」のおそろしさ、原爆によっての人々への被害などがよくわかり、その当時がどれだけ大変だったか学ぶことができました。

まず初めに、原爆先生のお父さんの体験したお話では、想像をしていくうちに、真実とは思えないようになりました。なぜなら、そのような姿をした人や風景を見たこともなく、想像したことのみだからです。戦争がおそろしい、たくさんの方が亡くなった、ということを知っていても、今日のようにくわしく話を聞き、想像したことはありません。でも、先生がお話していることは全部本当のことなので忘れたいようにしたいです。

ぼくは今日の学習で、戦争のことがよりくわしく分かり、改めておそろしいということも分かり、よい体験になりました。良かったです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の地田さんの言葉を
きいてすごいすごい物だなと
思いました。まずあなたのお父さん
がドラムカンにいたというのは希世き
だと思えます。その後の人の皮がはか
れるというのがとてもわかつたです。
そんな人がいっぱいいたというてか
わかつたです。ガレキの山それいかに
にもないそれは人のいたがいっしょでい
なくなつたそれがいかにわかつたです。川のほとり
水がなくなっているのはがなしいです。
「リトルボーイ」という原爆が60kgのうち1kgと
いうのはびっくりしました。中心温度が100万度かびっくり
ました。外でも7000℃というすごい温度は太陽と同
じかびっくりです。37のひかりがあるのはすごいことです。
真空(ぶつ)たいになつてよほう気がお
きてまじく雲たな宇宙カリカリまじく
いうてはおどろきました。死亡率が40%というのがとてもわかつた
です。平和記念公園のように平木のあつてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1は、原爆先生のお話を聞いて印象に残ったことは、2班のゆうかさし原子爆たんのことです。

2班の人はずっといやな思いをしているのに人々のためにがんばっていたということがすごいし、いくら軍からのぬいれいでもふつだつたらにげたしたいことがふつうにびきてすごいとしかいえません。

原子爆たんは、ホロニウムやウランなどのほう射能のほうふな元素をたくさんいれて爆発させるならなにかアメリカとの関係に何かあったと思うので社会で調べてほしいです。

ぼくはこれからも戦争はしておけないということをしゃちょうしてあげたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、これまで以上の原爆の本当の怖さを改めて知りました。

ぼくは今まで、原爆と爆弾とあまり変わらないと思っていましたが、まさか原爆が3つの効果があって、どれもが人体にかなりのえいきょうがあるとは思いませんでした。そして、アニメやマンガで言ったり書いたりしている説にはかなりのまちがいがあって、ぼくはてきつ、すべて正しいのかと思っていました。

でも、しっかり正しいことを教えてくれて良かったです。

これから日本がどうなっていくか分かりませんが、戦争が無い社会を作って行きたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

私は、授業を見ている間とっても
 悲しい気持ちになりました。そして
 とても苦しかったです。でも、私よりもっと
 おつとずつとずーっと池田よしろうさんや、
 原爆を体験した方、たまたかさん、
 ひがいにあった方、子ども大人、動物、みんな
 苦しく悲しくつらく、痛い思いをしていると
 思います。ぜったいそうです。

私は、大人の方は、「どうしてそういう
 事がおこるのか」など分かります。
 でも、子どもは、「どうしてそうなるの」
 「どうなってるの」と思うと思います。
 私も始めは、「どうしてそんな事するの」と
 思っていました。だからもっと小さい子
 達それと、動物達、わけも分からず
 命をおとしていったのた」と思います。

すごく悲しいお話でしたが、
 とても大切なお話だし、悲しいけど
 うなでのしっかりわすれないで



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

1/1

私は今日の授業で「原爆」というもの
についての考え方が変わりました。

今までは、あまり知らなかった。自然
におきたことだと思っていました。

本当は、他の国から落とされ、人をたくさん
苦しませていました。そこまでして、なぜ
原爆を落とすのかと考えました。でも、京都
は、日本にとって重要なものと知り、候補から
外していたことが心に残りました。「E」ラ
ゲイン」に60kgつまっていた原子爆弾のうち、
1kgのゴルフボール位が爆発し、広島が
火の海になっていた。60kg全部が爆
発していたら、日本全体火の海になってしま
うんじゃないかと考えると、ぞくぞくしま
す。どんどん人が消えていってしまい
人を苦しめる原爆を全然ちがうもの
として考えていた私は、正しい答えを知って、
もう2度とおきないでほしいと思いました。
今日の授業を忘れないようにします♪



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11

私は、まず、原爆がとてもとてもとても
こわいということを知りました。最初の話が
実際にあったことだと思えば、こわくてたま
らなくなります。でも、実体験者はもっとこ
わいなんだと思います。池田よし三さんは、
原爆ドームに行って、ぼそと「きれい
すぎる」と言ったらいいけど、私はその写真
を見ただけでなきそうになりました。その
ことから、こわいことだと思いました。

原爆がおちたときの放射線はさまざま
な病気をあたえるおそろしいものだ
と知りました。

もう原爆をおとしたりしないで、平和で、
死者の少ない国にしてほしいです。苦しんだ
りしなくてすむ国をつかってほしいです。実体
験者の苦しみを知り、もう二度とないようにし
たいです。また、その苦しみをもっといろいろな人に
知ってもらいたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

// /

私は、原爆先生の授業を受講して、原爆に会った人達の様子を聞き背すじがソッとしてしまった。この話聞いて思ったことが二つあります。一つは原爆のことをわすれないことだと思っます。「被災してないから。」「ほかの県で起こったことだから。」と私には関係ないからとわすれていく人が出てくると思っます。でも多くの方が命を無くし、自分たちの町を消していった原爆をわすれないでいろうのがせくなる人達のためだと思っます。

二つ目は、考え想像させることだと思っます。原爆があったその日にどのような事があったのか、原爆の後にはなに想像することでその日、広島にいた人たちの気持ちか分かると思っます。

これから原爆というこわくおそろしい物が無くなりまうように...



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

11/1

私は、今日の話聞いて、少しびっくりしました。
理由は、3つあります。

1つは私の想像以上の強器を使っていたこと
です。地上では3000℃の空気で7000℃
の球体が落ちてきたそうです。鉄が溶けるのは
1500℃なので相当なぬつさでした。

2つ目は、兵士として、広島で人を安全な所
にうつしたりした人たちは助けを求め、人を
救おうとしても救えない悔しさも伝わりました。

3つ目は原爆の展示物を見た。池田さん外
「きれいすぎる」と言ったといふことは、その展示物も
悲惨だけれど、その当時は、展示物になんか表れせな
いくらい悲惨なものだったのだと思います。

最後に池田さんのビデオを見て、その原爆を
思い出したくて涙が出て、池田さんは私たちが、
一生見れないようなものを、何度も見てきたので、
原爆で亡くなった方、兵士さんたちの分も、私たちが
思いを知って生きていけたらいいなと思いま
す。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の言話を聞いて戦争のおそろさが改めて分かりました。ぼくは戦争をしたことがなかったからただ書いて終わりにしてしまいました。でも戦争を受けた人の話を聞くとうるえがたってきました。理由は、かくばくだんが「おそろしかったからです。ふっつのはくだんでもこわいのにかくばくだんを使っていっしゅんで消えた人や全身がやけどで「ミラ見たい」歩く人がいたのだ。すごいおそろしかったです。

ぼくはかくばくだんがなかったら世の中は平和になると思いました。理由はかくばくだんは温度が高いから危険でそれがあつて原爆先生から教えてもらったようなことになり、いっすれ戦争になってしまふからかくばくだんだけではなく全部のはくだんがなくなれば良いと思いました。

これからは原爆でなくなった人の思いとかも考えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、先生の話を聞いて、想像するだけで、「えっ」とおどろかさされるばかりでした。その中でも、「人間がくだげちる」という言葉が、思出したくないけれど、心に残りました。また、こわくて耳をおさえてしまう時も、何度がありました。

池田しん徳さんのお父さんは、初めて見るのに、興奮していても、しっかりと指示に従い、作業できるのは、とてもすごいと思いました。

また、一度経験しているから、手紙を読んでいる時に、泣いてしまったのは、苦しみがあるからだと思います。苦しみがあるかもしれませんが、少し見てみたいという気持ちがあります。なぜならば、私は、想像でしか見られません。本当は、私の想像の10倍20倍こわいのか、もっとやさしいのか、想像でしかできないからです。

しかし、必ず、こわいということは、頭に入れておいて、二度やってほしくないです。

原爆のことをこんなによく聞いたことは、初めてでした。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して原爆のおそろしについて改めて学びました。以前からぼくは原爆について学んでいたけれど本当に体験した人の話を聞くとしてもおそろしと中で耳をうごいてしまうところもありました。特にうでの友らがする「すけた」という言葉やとせん人が消えてしま、たという話を聞いた時は本当にこのようなことが起ったの^{こと}かと思^いてをくらりました。

原爆

そして第2候補の小倉の天気が悪、長崎に落ちるとなれば長崎も天気が悪く帰ろうとしたのとせんに雲にまわがてまたせいで原爆が落ちて来た^{こと}と聞いた時は雲にまわがてまわがたすけた原爆が落ちなかったと思^いてをーワでした。

ぼくは、このようなことを絶対に起こさないようにするために水兵器はれぜつをこれが言^い解^きすい^いにう^と思^いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/1

原爆先生の授業を受けて私は核兵器を
落としてしまったり戦争をしてはいけないと思いま
した。

核兵器を落とすと大勢の人が亡くなり町も
破かいされて全てがなくなってしまうので生き
残った人も辛い思いをするだろうなと思いました。

実体検の話の時に助けようと思っても
人間の皮がはがれ痛いよう、助けて」という声が聞
こえて、助けようと思った軍隊も助けられない
のでかわいそうだし辛かったと思いました。

お話の中にあつた少女の話は、みんなががん
ばっているのを見て、なみだ一つ見せず
にがんばったのではなにかなと思いました。

核兵器についてのお話では、核兵器は町を
はかいてしまふほどすごい物だと思っただけども
核兵器について詳しく知れてよかったと思
いました。

この話を聞いて核兵器は絶対に使っ
てはいけないし落としたとしても辛い
かない感情が出たのではないと思
いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

//

今日、原爆先生の特別授業がありました。その授業では、ものすごくおそろしい物などを見てとても現実にあつたと思えなような話ばかりがでてきました。その中でも一番おそろしかったのは、原爆が落した時に、人間ではないような人たちができたときとても悲しかった。今回の授業ではさすがに笑える話や楽しい話ではなくとても悲しい話や聞いてやになる話ばかりがでてきました。その話を聞いていると心おそろしくなりました。

次に授業の内容で原爆の種類やでけかや落しかや落とした人などどこに落しかとか条件などを聞きました。それと自分が本のように体験したことなどをかたいてとても悲しくなりました。

最後に自分の今の意見で自分は、いまでと戦争というイメージがかりとても軽くなるに「戦争」と言えなくなりました。それと、戦争を体験した人たちの気持ちか少しはなるとてもおそろしくなりました。最後になりますか戦争のおそろしさをかたいてとてもいい授業でした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

約60年前に広島県に原子爆弾が
投下されたのは知っていたけれ
ど、わしくは知らなかったの
で、今日お話を聞いてよかったです。
お話を聞いて改めて戦争に
ついて考えることができました。こ
わかったところもあったけれど、目
をそむけず向き合うというのは
大切だと思いました。広島県に
行ったことがないので、原爆メモ
ムや、島病院資料館などに行
っても、日本の過去について知り
たいです。二度と日本が戦争に
まきこまれないようにこのこと
を未来に語りついでいきたい
です。

原爆先生(池田 眞徳さん)

今回は

ありがとうございました!



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

111

改めて原爆の恐ろしさが分かりました。

原爆は、太陽の表面温度(6000°)よりも1000°高い7000°という、人が焼死してしまう温度をそうです。さらに原爆(リトルホーイ)の中心温度が100万度という人が一瞬にして死んでしまいそれに夏なのですごく暑いのでもう考えられません。

広島市の当人の人口の半分以上が放射線などもあひたりして死んだ人も泣き出してびっくりしました。長崎県の原爆もぼくは知っていましたが、これほど大きな物とは思いませんでした。

ぼくはこの話を聞いて原爆について、と知りたくなりました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業をうけて原子爆弾はとて
もおそろしいものだと思いました。特におそろしいと思
たことは人が何万人も死んでしまったことです。
私は原爆先生の授業をしてもらう前まではそ
まで原爆のことは知らず、広島に投下されたこと
が知りませんでしたけれど、長崎にも投下し人が
何万人もなくなったのは知らなかったのでびっくり
しました。また、原爆先生の話は分かりやすく、お
父さんのできごとなどを話し、くわしく説明してました。
またお父さんのできごとはとて、こわく私なら人が死
んでいる所や皮ふがたれさかっているところなど見たく
ないなと思います。またうじ虫がわいたりして、しまうのも
びっくりしました。うじ虫が出ていたのは、けかを直すこと
ができませんでした。日本では戦争などをせよ、平和な
暮らしがてきうように、これから、未来、原爆先生がいて
いたことをつなげていき、自分自身も、このことをわす
れずにいたいと思いました。

原爆のことが知れたのでよかったです。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/1

私は原爆先生の授業を受講して、改めて戦争の悲傷さや苦しみが分かりました。今までは広島と長崎に原爆が落とされたということは知っていたけど、中心部の温度やその人達の様子は知らなかったのでもともいい経験となりました。私が授業で一番興味をもった所は、中心部や表面の温度です。なぜ興味をもったかというと太陽でも6000℃なのに表面は7000℃と身近な物と比べることができ、大変だったということをもさらに感じる事ができたからです。授業を聞いて思ったことはアメリカに原子爆弾を落とされずに終戦を迎えることはできなかったのか？です。今はその当時の状況や世界とのつながりをあまり知らないのだから、カリ学習して、二度と戦争をしないことを決心したいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1 (金)

原爆については、本などを読んで少し知っていたつもりが、今日の授業で全然ちがうことが分かりました。

あの日、広島で本当はなにがあったのか？話を聞いていると、おどろき、悲しみ、いかり、こわさなどの感情がこみ上げてきました。太陽よりも温度が高いものが降ってくるというおどろきや、一瞬の内に炎の海となった町から、皮膚がはがれ、黒いけになり、手を前方に出してフワフワ歩いている姿が目の前にうかびそうなぐらいのまよふ、そして身元が分からな、上に、爆発直後はまた生きていたのに、その後のでまごとしておどくなりになった方々が、たくましくいることへの悲しみ、アメリカへのいかりが混ざってとても暗い気持ちになりました。

私がこの授業で学んだことは、実話を聞くこと(経験)の大切さ、生命の尊さと生きているありがたさ、戦争(原爆)の恐ろしさです。

広島にあったあの日のこと、またたけもかたれなってしまう。それと同じで、私は今日のお話を忘れず、図書館などで少し調べてみようか、と思っています。あのようなことは、たれも望んでない、あのようなことは、絶対に二度とあってはならない。そのことを、自分自身でもふり返り、色々な人に話したいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/1

私は原爆先生の特別授業を受講して、私が一番先に考えたのは、その原爆のむかしの気持ちです。とつぜんすごい熱い風が来て体中の水分がなくなると、その後のしんどうでこたごたになつて嵐のようになつてしまつたし、建てものと一緒に体全身が動かしている人は「助けて、助けて」といって、助けてほしいという気持ちと、これ不安、いた、いろいろな感情があったと思いました。でも、トラックにのっている池田さんも助けてあげたい、と思つて手をさしのべてもかけた皮がズルッと落ちていたと泣きわめく人がいた、といつて池田さんも人間の容しじがない人を見捨てないで助けることは私はこわくてできないな、と思いました。

私は最後の池田さん本人が話しているビデオをみて一番泣きそうになりました。あとその池田さんがなくなつたと聞いたとき...。関係ないのになせかなくなつた私のおばあさんのことを思い出してしまつて...。池田さんのビデオでは池田さんが涙を流しているときがありました。なるべくなら思い出したくないことなのに私たちの勉強のために思い出してくれてありがとうございます。と心の中でした。いろいろ勉強になりました。今度はくまが館に行きたいと思つた!



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/11

私は、原爆先生の特別授業を受けて、原子爆弾はすごくおそろしく、一生使わないといけないということをおためた感じました。

私は、旅行で4年生の時に広島へ、5年生の時に、長崎へ行きました。

特に広島へ行。当時、原爆ドームのそばに、ある資料館へ行き、その夜一人でいるのがこわくな。たことを覚えていす。皮ふ、かんだらんとたおさか。ている人形、原爆が投下されたとき、わらなかつたものなど、資料館にちた警告物を思い出しました。

東京にもし原爆が投下されたら、そんなことを知らないから聞い。いしました。

夏の35℃くらいいでも暑いの。に、と暑くなるとうちはたえらわいせん。

ミサカは、原子爆弾が投下される国が、や生ないことを信じています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

私は、原爆先生の特別授業を受講して、今まで知らなかったことを知ることが出来ました。例えば、原爆をアメリカは、京都に落としたかったけれど、文化遺産などがたくさんあったので落とさませんでした。代わりに、広島に落とし何万人もの罪のない人たちが亡くなりました。日本の文化をこわさなかったことは良いと思ったけれど、その後も、結局日本のどこかに、落としたので、人々が亡くなることには、変わりないということをアメリカの人たちに知らせてもらいたいです。

また、国語の授業で、平和について、学習しました。受講して、改めて平和でいられることは幸せだと思いました。

世界では、まだ戦争している国々があり、その国は、この恐ろしい原爆を落とされるように、戦争を止めてほしいです。そうすれば、幸せになれると私は信じています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

私は、原爆先生の特別授業を受講して、原爆を伝えることの大切さと、思いやりの大切さを学びました。

原爆先生の話の中には、思わず耳をふさいでしまったりといやな気持ちになった部分もありました。では、必要ではないかといったら、そうではありません。私が知らなかったこともたくさんあつたし、何より私に原爆の被害を伝えようと思わせてくれました。また、池田真三さんの思いやりのおかげで助かった女性もいたそうです。私は祖母を亡くしたので、人が亡くなることの苦しさを知っています。あのとき真三さんが助けなかつたら、弟さんはとても苦しい思いをしたと思います。

だから私は、原爆の真三さんの話を後世に伝えたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1

今日、原爆の話を知り、原爆は想像していたものよりずっと大きな被害を与えるものなんだなあと思いました。原子爆弾が広島と長崎に落とされたのは知っていたけど、条件の「直径5km以上の平野であること③空しゅうがないこと」は知らなくて、広島、小倉、長崎の他にも、京都なども候補に上がっていたと知って、驚きました。原爆の直下は、爆発するときには3000℃にもなると知って、私が屋外にいて、何も知らないときに原爆が落とされて一瞬で消えたら、と考えるととても恐ろしくて怖いです。今日、原爆のことをくわしく知ったので、忘れないようにしたいです。そして、自分の子ともや、後生の人たちに教え、もう二度と広島や長崎のような被害が出ないように、原爆のような核兵器が世界からなくなるようにしたいです。

落



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今、社会や、国語で、戦争について学んでいますが、実際に体験した人の話を聞き、私は、改めて、今生きていることが、どんなに、すばらしいものかを考えることができました。戦争では、多くの方が亡くなり、生き残った人たちも傷つきました。熱線などをあびて、被害にあつた人々は、全身やけどを負っていて、激しい痛みをこらえながら、うでをななめ前に出して歩いて、兵隊さんに助けを求めたという話も聞きました。戦争は、体験した人にとっては、一生忘れられないものであり、戦争を知らない人は、きちんと知っておくべきだと思います。戦争は私たちが思っている以上に悲惨なものであり、戦争を話を聞ける機会はなかなかないので、今回、広島と長崎の原爆について、くわしく知ることができたので、良かったです。戦争の悲惨さを、すべての国民が知り、それを、永遠に語りついでいきたいと思います。今回、長時間にわたり、お話をくださったことは、一生忘れません。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/1

今日、ぼくが原爆先生の話を聞いて
思、たことは、やっぱり戦争というのは
絶対や、てはいけないことだし、このお
そろしさを後世に伝えるという大切さ
を知りました。1945年8月6日 8時15
分に広島に原子爆弾が落とされました。
熱線や衝撃波、放射線により5人に
2人が死したという話を聞いて、す
くおそろしいことだと思いました。
またおどろいたことは、ウラニウムがゴルフ
ボールの大きさでも広島に落とされ
るということ。もしその重さが50
倍もの重さになったらと考えたら考えら
れないほどおそろしいことだと思いま
した。ぼくはこの授業を受けて原爆は
二度と落としてはいけないと思っし、今
自分たちが平和な世の中で暮らして
いることを幸せに思っています。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1(金)

私は最初前半しか聞いていなかったけど、爆発しただけなのに死者がたくさんでるなんて悲しいことだなと思いました。町中に死体があることなんて考えたくもありません。

これからの日本をこんな日本にしたくないし、未来がこんな未来だ、たらやだなと思いました。

池田さんが、怖い体験をしたのを、学生に教えているなんてすごいなと思いました。池田さんの話で私以外の人にも知ってほしいと思いました。そして、話をしとら、たことを忘れないことも、とても大事だと思います。大人になってもたくさんのが被害が起きたことを忘れずに生きていきたいです。

そして大人にな、たら、この勉強を、生かして平和の人生を送、ていきたいです。これからのことを考えながら生きることも大切だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して教科書ではどんなに読んでも分からないことを学びました。

ぼくは、この話を聞いて、とてもいみが痛めました。教科書を読んだけれど、それよりも、とてもいみが痛めました。

原爆さんは、多くの人の命をうばう、とてもおそろしいものだと、いうことをあらためてまなびました。

これからは、原爆のことについて、もっとまなびたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して、このことが心に残りました。

1つ目は原爆についてです。これは温度、キノコ雲などです。温度は100万度といふ、太陽よりも熱い、想像もつかないものです。そして、地上で3000度もあかば川もふっ、というつもりでした。

衝撃波は、連秒におとすまじ、秒速500m、時速で表すと、1800km、おりのたい数です。そして、地面にはおかし、2度も衝撃かかるといふまじです。

被害は、なかなか想像できないので、まじかでもう少し調べてください。

27日はアメリカの予有です。京都の文化のために火暴たんとおとさないほいたので、その前に軍争を終わらせたいのは不思議に思いました。

なので、原爆以外でも、8.15と8.14のちがいは、おとすまじです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/11

ぼくは、原火暴先生の話を聞いて、昔におきた、リガ
な事件の内容が分かった。

原火暴が広島と長崎に落ちた時の兵隊さん
や、人々の気持ちがあかりました。

兵隊さんは原火暴が落ちてもう人ではな
い人や火焼いたり、さくが、死体をつら
い思いで運び、帰ることを思っていたのだ
よ。そして、生きた人を後に乗せるおたた
がさ、幸せがあった。

人々は、いふ、が、おけて助けようとして
も人分からはなれていふ、が、おけて、き、で
人々に生きてくても生きていけず、死んで
く、悲しむ、があった。

そして、昔におた、リガ事件が、の、ぼくた
ちが、生きていて、原火暴などのことおさをしてい
るのだ、と思ひます。

おの日、幸、も、生きて、お、喜、かり、た、ら、ど、う
な、て、い、た、の、を、し、ま、が、の、り、お、さ、ま、え、て、ん、
に、い、れ、たい、で、す。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田さんのお父さんは、原爆を体験していることを知り、おどろきました。お父さんは、十七歳で軍に入っていたので、優秀な人だと思いました。原爆を落とされたとき、ドラム缶で力がかたが、10mもとはじかれたり、川が原爆の熱で干上がった者でうまったり、人が全身にやけどをきいていたりしたことから、当時でも命をとりとておくべきな力をもっていたと感心しました。

後半の、原爆の説明では、実際には投下されたのは広島と長崎だけかと、他にも小倉などが候補だった、ということも知りました。また、原爆は、熱く、下期の授業でもお話を伺い、をしり、原爆は、あくきけんて、二度と使ってはいけないと思っています。

これから、平和ということを意識して生きていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

このことを通して原爆のおそろしさ、にくしみ、苦しみをしりました。おそろしさというのは原爆で何人もの人が死に肉がさけ生々しい姿で残っていたということです。ぼくたちは体験した訳ではありませんがそれをそうぞうしてみるととてもおもしろいです。

3000°のおつをちよくせつくらってなくな、た人がほとんどですが中にはかげや建物の中にいて助かった人もいらしいです。

そんなつらい思いをしている人たちがいるのにぼくたちはとてもおきななのでこれからは、あたり前だけどいろいろな大切してむだにもしないので広島の人たちのことをおすれずにこの気持ちをおすれずにいたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

"/2

ぼくは原爆先生のお話を聞き前半だけでも原爆は人間をちがうものに変えてしまうおそろしいものだと思います。そして原爆の中心は100万度外でも7000度地面につくまでも3000度で真下にいた人は一しゅんで水が蒸発して次にくるしょうげき波で体が一しゅんでくだけちりしゅんでこの世からいなくなってしまう。さらに投下したエノラ・ゲイもばく風でこわれそうなカでの、ていた人はそのこうけいを見た人はこのこう景の前でこうちやくしてしまたそうです。最後のビデオでも人が途中でなきたしてしま、てもう60年もた、ているのにまだそのことをくやんでい、るなんてそれほどつ、いきおくだったんだなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

私が特別授業を聞いて、一番心にのこったことは、広島^の死者が5人に1人だったことです。マリアナ、テニアン島がエ1ラ・ゲイを発射するころほに上がったのが、なぜ広島だったのが不思議だったけれど、話を聞いていると、①直径5km以上、②平野 ③これまで空襲がないということを満たしていたからだと分かりました。広島より、長さきの方が、原爆のいかが大きかったことにもおどろきました。でも、中心地から離れたから被害が小さかったことを始めて知りました。

私は、この受講を聞いて、戦争はもうダメはいけないと思いました。戦争をすれば何人もの人が亡くなってしまう、悲しむ人が増えるからです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を
うけて学んだことが二つあります。

一つ目は、ぼくは原爆先生の授業の前
までは原爆のことをあまり知らな
かたのに、原爆のことを見まきもせずに

した。たけい授業を受けて原爆について
はいろいろと人の苦しいことがわかりました。

二つ目は原爆のきつさを知りました。

原爆はたおよりあついで水があつく

空の地ここのところまで

かたいていからあつさをあは

ひあをよけてしまふこと

このことか、ぼくは戦争をやっていない

たけいでああせうにわか

こあかりは命ということ

いであ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が原爆先生の話を聞いて思ったことは、命の大切さと、被爆者の想いです。被爆者は、いしゆんでいなくなる、もしくは大やけどを負いました。そのため皮膚がすりおち、つめは黒く長くのびとてほしい想いをしました。死者数が約14万人ととても多かったです。そのため、死体の処理が間に合わず放置してありました。そのため死体からはうい虫がわいていました。私は広島にある原爆資料館に行って大やけどをしていたがっている人の写真や舌だけ展示してあったり黒く長くなつたつめを見ました。このようなことから、とてもざんこくだったことが分かります。私が実際に広島(原爆資料館)に行って今回聞いた原爆先生の話がリアルに感じられました。原爆先生がうたえるように言っていたのでとても気持ち伝わってきました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

わたしが、原爆先生の話を聞いて学んだことは、戦争は、いやだなと思ったことです。

原爆先生は「ヒロシマの九日間」という小説を書きました。この小説は、原爆先生のお父さん、池田義三さんの原爆体験を題材にしたものです。

少年兵士の義三さんは、人類として初めて爆バサビに入り、死体をさがしたり、4又容したり、死体を焼いたりして九日間働きました。まだ18才だった義三さんは、勇気をふりしぼって作業をしました。もし私だったら死体をさわることができないと思います。けれど戦争によって罪のない人が殺されたなかでは、やらないといけなかつたのだと思います。

わたしが、今日の授業で、心に残ったことは、戦争を体験した人々の苦しさです。今日のお話のことを大事にしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/1

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講してもらいました。原爆先生の父が第二次世界大戦を経験していることを知り、その話をしてもらったと頭の中でイメージできました。

今日、戦争について、恐しかった苦しかったをあらためて思いました。その中でも印象的だったことは、三つあります。

一つ目は、ぼくたちは恐いとか苦しそうとか思うかもしれませんが、当時の人は戦争というものはほろい物ではないのかと思ったことです。

二つ目は、ウラン、一キログラムだけであの広島街があとかたもなく消してしまっただけです。

三つ目は、兵隊さんたちの勇気やおそれない心を持っていて、大やけどを負っている人でも応急処置をして、冷せいなことです。

この三つは、第二次世界大戦のことで、今ちょうど、社会で第二次世界大戦や日中戦争の勉強をかかれます。ぼくはこのことから、恐いとか怖いなどではなく、当時ほろい物だったのではないかと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日、原爆先生の話聞いて、空しゅう(戦争)のおそろさを改めて知りました。人間が人間の姿ではなくなったり、建物がめっちゃめっちゃになたりする事を教わりました。ぼくが原爆先生の話聞いて、印象的だったのは原子爆弾のい力です。原子爆弾が爆原する時に直径200mの大柱物になります。中心部が100万℃で周囲が7000℃だそうです。そして熱線が発射し光と同じ速さで地上へ、一瞬ですべてをはかい、人間も熱さで死に、あとかたも残らなくなるそうです。これを聞いてぼくは、あまりの原子爆弾のいかにおどろきました。そしてなんでそこまでしてやるんだと思いました。絶対おかいと思います。ぼくたちが住んでいる日本にも昔はそんなおそろしい事があったなんて信じられません。他の国では今も戦争をしている所があります。世の中、すべて平和にするのは大変だけど、せめて戦争をなくして平和な世の中に少づうなっていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞いて、その時の状況やなどを想像しながら聞いていると、体じゅうがゾッとしてすっとうで組みをして聞いていました。あまりのこわさに頭が痛くなる時もありました。

私は話を聞いていて、思い出に残ったことは二つあります。一つ目は、人の皮ふがとけたとき兵隊さんたちに助けを求めてきて、兵隊さんたちは手をつかもうとしたけれどすべて助けることができなかったという話のときです。なぜ助けたい」という気持ちでいるのに簡単に助けられないのだろう、そんなふうに思っていました。

二つ目は2発目の原子爆弾が投下される時の話です。もしも、昭和20年8月9日の天気が悪かったら、原子爆弾は投下されなかったかもしれない。そのとき私は、原子爆弾とはそんな簡単な問題で投下するかしないかが決まるものなのかと思いました。私はこの体験をして戦争とはそう簡単に結論は決まらずにはちゃめちゃのまま世界をぼろぼろにしてしまうのだと



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/

ほくは原爆先生のお話を聞いて原爆
はとてもおそろしいもので多くの人の命をうば
いこの世から消してこの世界にはあてはなら
ないことだと思いました。

原爆先生のお話を聞いて心に残ったことは、衝撃
波が音速よりも速くゴルフボール1個分
のウラン1kgが広島を破壊することです。
広島を丸ごと丸ごと野原にするにはた
くさんのウランを使っていったけど、た
くさんのウランで破壊はできなりました。

ほくはこれからこのような恐ろしいこと
が起きないようにみんなが手を合わせ
自分も相手も言わなければいけないことを
学びたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

わたしは原爆戦争のおそろしさを改めて学びました。

一発の原子爆弾のせいで広島の町が破壊されました。そのあと、長崎の町も破壊されました。この話を聞いたとき、

わたしは「なんて残酷なんだろう」と思いました。また、「こんな戦争なんて、二度としたくない」と強く思いました。

では、戦争をなくすにはどうしたら良いか。

わたしは、やはり国語の時間の平和について考える、で学習したように、『一人一人が戦争は絶対にしないという自覚をもつ』

『相手のことをよく考え思いやり、みんなが笑顔でいられる世界をつくる』というのが大切なんだなと思いました。

わたしは、まずは自分がこれらのことを実行して、やがてみんなに広められるように努力して、世界中で行われている戦争をなくしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

私は今日の話で原子爆弾のおそろしさを、
改めて感じました。

広島と長崎に原子爆弾を投下してどんな
意味があったのかと考えました。アメリカは、原
子爆弾を投下したから戦争が早く終わった
と言っているようです。私は原子爆弾が投下
されてもいいことはないと思います。広島と
長崎で多くの被害が出てまだ世界に核兵
器があるのはおかしいと思いました。

このようなことを次の世代に伝えていく
ことはとても大切だと思います。原子爆弾
による被害を忘れくり返すことがないよ
うにすることが私たちのできることだと思
います。私は原子爆弾などの核兵器を
なくし、平和な世界がつかれるような仕事
をしたいと思いました。今日のことを一生
忘れず伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講してぼくが思っていたよりも全くちがうことが分かりました。

もう少し、いかたかが小さかったり、そんなに大きな事ではないと思っていました。

聞いているうちに、「こんなにひどいのか」とか「これほど大変だったのか」と言うのが、話を聞いているだけで頭の中で想像できました。

また、太陽の熱よりも、原爆の周りの熱の方が千度も高いことを知りました。

最後の5分の話を聞いているうちに、戦争のひどさ、戦争のいけなさ、それに、戦争の悲しさも伝わって来て聞いているだけでっらかったです。

このような話から二度と戦争をしてはいけないということを、原爆先生は伝えたかったのだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の授業をうけて、原爆のおそろしさを改めて知りました。原爆は、大勢の人たちが死ぬおそろしい武器とは分かってはいたけれど、授業をうけて、改めてしてもおそろしいことだということを知りました。ぼくが授業をうけたおどろいたのは、原爆は、爆発すると、100万とや7000℃など太陽より高い温度になることです。爆たんといってもそれほど高い温度になるとは思っていませんでした。また、池田しんとくさんのお父さんの経馬舎を聞いてもおどろきました。爆心地近くに行くとかおきたけでなにもなかったということはとても印象に残り、元安川の水が蒸発していたくさんの死体があったことも印象に残りました。ぼくは、最後の池田しんとくさんのお父さんのインタビューを見て、池田しんとくさんのお父さんが泣いていたので、とても原爆がもたらしたもののかなしかったのだらうと思いました。

ぼくは、今後、原爆のおな武器が戦争に使われないようにと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

/

「原爆」というものを私は勉強などでしか学んでいなかったから、ただ戦争というものはとても悲惨なものであり、原爆というのはおそろしいものだとしか思っていないでいました。しかし、今日、原爆先生のお話を聞いた事で、原爆のおそろしさというものが現実味を帯びてひしひしと伝わりました。被爆をした人の様子をくわしく聞いて本当におそろしくなりました。また、幸い助かって今生きている人でもまだ苦しんでいる人がいるそうです。原爆先生は、「被爆した人は人間とは言えないような悲惨な姿になってしまう。」とおっしゃっていました。

これは戦争にも同じことが言えると思います。目の前の利益だけにとらわれて多くの人の命を奪う戦争、絶対に起こしてはならないと思いましたが。原爆先生のお話を色々な人にも伝えて平和な社会をつくっていかうと思うようにもなりました。このようなとても貴重な体験ができて本当に良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今日原爆先生の言話を聞き
 原爆の恐ろしさを改めて理解しまし
 た。先生の父が原爆の被害を実
 感したことについて言話したことが一
 番心に残っています。僕が一番
 しょうげきたったことは人間が人間じゃ
 なくなるということです。初めは人間が人
 間じゃなくなるとはどういうことかと思っ
 ていました。言話を聞き人間が人間じゃなくな
 るというのは原爆で人間の体が元の
 人間の体ではない。残くな姿になる
 ということです。残くな体になるとい
 うのはものすごい熱線や 周でやけど
 した体や、ひるがはがれ落ちたりとい
 うことです。僕は原爆先生の言話を聞いて
 原爆という兵器は人間そのものを変え
 てしまふ恐ろしくて、最悪なあつてはならない
 ものだと思います。だから日本みたいな原爆の
 被害を受けた国が二度と出ない事が一番だと思
 います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/1 (金)

私は今日、戦争のおそろしさと、今、戦争がなく
毎日楽しくすごせるありがたさを学び、感じました。
それは、実際に戦ってまいりた人たちが
原子爆弾などによつて、あたりまえのように亡つた
ことを学んだからで、ほとんどの人たちが、
原子爆弾の熱風や、放射線によつて亡くなり、
中には、あとかたもなく消えてしまつたかのように、
亡つた人もいたそうです。私には、まだ
なぜ戦争などという争ひにくひ争ひを行つて
しまつたのか、理解できません
私たちのように、あたりまえに生活してゐたのに、
どうして、こんなことになつてしまつたのか、
考えただけで、寒けがしました。でも、
実際に戦争を経験した人のきょういひは、
こんなものではないと思ひます。だからこそ
戦争などもうやめてはいけないと改めて
感じました。また、口で言うだけではなく、
少しでも、戦争で亡つた人たちの苦しみを、
考えることが大切だと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは父方も母方もどちらも実家が
広島なので夏休み中は大体広島
にいますので毎年「平和の勉強」という意
味で原爆チームなどに行っています。

原爆の資料館で焼けただれた皮ふを
している人形を見ました。でも原爆先生
のお父様が

「こんな生やさしいものじゃない」

と言ったのを聞いて正直「そうだったろうな」
と思っていました。

ぼくも原爆の温度の勉強は前に
やったので皮ふが焼けただれただけでは
すまないんだらうなと思っていました。

ぼくは原爆先生の話を聞いて

戦争は誰も殺していない人たちが

無差別に殺されるいどい物なんだな

と思いました。それと平和について

考えようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

ぼくは11月1日に原爆先生の話を聞きました。ぼくはこの話を聞いてあためて戦争はこわいものだと感じました。この話は今日来てくれた先生のお父さんの話でした。先生のお父さんは17才で兵士になったそうです。そのお父さんが「原爆のあとの町を片づける」という話と原子爆たんの話でした。その中に人に「クヅムツカ」が「キ」という話があってすごくこわかったです。6年生では国語や社会で戦争のことをやったけれど、こわいにくわしくてこわい話は初めてでした。ぼくは絶対に戦争はしてはいけません。今日聞いた話をずっと忘れないようにしたいです。また、原爆先生はお父さんの話をしてくれました。だから、ぼくもおじいちゃんやおばあちゃんが体験した戦争の話をすることはできると思います。ぼくが大人になったら、いろいろな子どもに戦争はしてはいけませんと教えて、これからずっと戦争がないようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

国語の授業などで、今まで原爆というものによって起こってしまった被害や加害、たくさんの方のことを調べて来ました。しかし、今日の話は実際に体験した人で「軍隊」に入っていた方の話です。90分という長い時間でおそろしく悲しい話をたくさん聞きました。初めて聞いたこと、知ったこと全部がとても大切で重要なことでした。広島原爆によって亡くなってしまった人が14万人で、5人に2人がなくなってしまったのを知って、とてもこわくて、頭が痛くなりました。たくさんの方が亡くなったのは知っていたけれど、こんなに多くの人なのは、知りませんでした。さらに、14万人中、2万人の人は姿もなくなってしまったそうです。原爆先生の話を聞いて、良い気持ちにはなれなかったけれど、すごくためになりました。また、もっとあのときの現実を知る必要があると思ったので、戦争の体験者であるおばあちゃんなどたくさんの方に聞いてみたくなりました。そしてその事実を私が未来へと語りついでいきたいです。重要なお話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは総合発表で原爆に
関することを言周べました。

原爆は原子核分裂によって
おこるものすごい**力**と高い**熱**を
利用した爆弾ですとスピーチで
言いました。たけど「原爆先生」の話
を聞いて自分が思っていた事より
もぜんぜんちがっていました。

ぼくは今日 A君とけんかを
したけれど国と国がこのように
けんかをするとまた原爆が使わ
れるかもしれないのでけんかはだめ
だと今日 改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

私は原爆で、人体(生物)や植物に影響をかなりもたらすので、国語の授業で習ったように戦争をしたり、けんかをしたりしてはいけないと改めて学びました。今まで知らなかった原爆の様子など知られる良いきっかけとなりました。この授業で、戦争のおそろしさや平和の大切さを気づかされました。なので、今からでも大人になってからもいいから平和の大切さを伝えたいと思いました。6年生になってから、かなり平和や戦争についてのことを知らされました。私も、広島県に行ったことがあつて、4年くらい前だったので、戦争についての考えは浅かったです。でも今行ったら、きっと戦争についての考えは深まっているはずです。戦争の悲惨さなどを広島県で実感し、しま病院に行ってみたいと思います。すごく勉強になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが一番原爆先生の話をきいて心に残ったとは、よく兵隊さんたちは死んでしまった人のご遺体をかづぐことができたなと思います。なぜならお話にもあったように、はき気がしてたとおっしゃっていた通り、ぼくなら途中で投げだしてしまうと思いますが、こんな仕事がよくできたと思います。あし、原爆投下から九日間の出来事を先生ご本人で演じていただいて、とてもわかりやすく、イメージがしやすかったです。

プロトニウム「ウラン」といったことが、「放射線」「放射能」のちがいを原爆投下についてのさまざまなエピソードなどくわしく語っていただきました。戦争のおごいありさまなどあらためて感じました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅごうの特別授業を受講して

表

11/1

私は、この原爆の話しを聞いて、思ったことは、二度とこのような戦争がおこらず平和である世の中にしていきたくて思いました。広島原爆ドーム(産業奨励館)があのおそろい原爆のことをうたっている原爆資料館には、ひふがたたれて、歩いている人の写真を見て「わい」と思いました。ひふがたたれている人は、「痛い、痛い、目かいて」と言っていたのがもたないと思いました。池田さんは必死で遺体やけがしている人を運んで、その人達の顔を見て、くしい思いをしたのかなと思いました。私は、実際に体験していないのに池田さんの話しを聞いただけでも、その時代で原爆を体験した人の苦しみが分かる気がしました。ゴルフボールの大きさだけで広島がやけてしまったなんて、すごい威力だと思いました。原爆は、多くの人命をうばってしまうおそろい物。国語の授業で、私は平和について考えて、核兵器や暴力などをもちいて、けがをやってはいけません。こういうのをもちいても、問題は解決しないということが分かっていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

私は、日常生活の中で戦争について余り考えたことがありませんでした。だから「戦争」という言葉を聞いてもよく分かりませんでした。しかし原爆先生の特別授業を受けて戦争のおそろしさ、怖さ、また「二度としてはいけない」ということが分かりました。そして戦争は戦いたくしくも日本のために戦わなければならないということが分かりました。また原爆というのは一瞬間にして人の命をうばうということが分かりました。そしてその瞬間はやり過ぎてしまわなくても、後から放射線などを浴びて亡くなっていくということも分かりました。また、皮膚がはがれたり、体の肉が見えたりしたと聞き、すごく怖かったです。だから原爆は戦争と同じで二度と起こしてはいけないことだと思いました。私はこの平和な日本、世界が長く続いたら良いといつまでも願っています。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いて原爆はない方がよいものだとあらためておもいました。その中でもおぼろしいことは二つあります。一つは原爆を受けた人のこと、原爆を受けた人のことをきかされたとき、ぼくは想像しただけでもこわくて、想像するのでもおそくてあまりできませんでした。特に死んだ人、うめくたれた人はとても想像したくもないほどこわくて、もう一つは、原爆の温度です。中心の温度は100万℃のおおきく、直径200mのところでは7000℃、太陽の表面よりも1000℃もおおきく、ということもおぼろしく知りました。ぼくはこれまで太陽が最も熱いものだと思っていたので、人がつくり出したものが太陽をこわしたということにとてもおどろきました。ほかにも爆心地の下では300℃もおおきくあります。ふつうは100℃のものを土おこして、とても熱くしてしまえば、その30倍といわれても想像ができません。とても熱いということしかおぼろしく知っていた、原爆は、すべてが想像を越えていて、おぼろしいことばかりでした。ぼくはこれからは原爆を一度も使わず、これ以上つらいことが大嫌いだと思い直しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、
たくさんを知りました。そのなかで一番
印象に残ったことが2つあります。

1つ目は、候補になった都市についてです。
もし、広島が天気が悪かったら小倉、そして小倉の
天気が悪かったら長崎、となるのはとてもひと
いことだと思いました。

2つ目は、太陽よりも熱くて中心の温度が
100万℃もあるものが、上空600mあたり
にあることについてです。

太陽よりも熱いものが、600m上のところ
にあることを想像しただけで、すごく熱か
たことが分かりました。

私は、原爆先生の話を聞いて、候補になった
都市、すべて天気が悪ければよかたと思いま
した。なので世界のどこでも、そういうことが
おきてほしくないなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の話を聞いて

軍隊は戦っていただけかと思っていたので、

爆弾投下後の爆心地にいる人たちを運ぶ

仕事など、私か思っていたよりもたくさん

仕事をしていたことが分かりました。

一番心に残ったお話は、「ひふがただ木で、性別が

分からないくらいひびいて姿になっていた」というお話です。

とっても悲しいことだったので

もし自分がそこにいたら、見ていられなくなると

思いました。私が想像したただけでもひどいという

ことが分かったので、実際に見た池田さんは

どんな気持ちだったのかなと思いました。

私は、原爆先生のお話を聞いて、とっても

悲しい気持ちになりました。でも、この

お話を聞いて戦争のことがとってもくわしく

分かったので、知らないことが知れて

よかったです。あと、今の生きかたが木だけ幸せなのか

よく分かりました。なのでこれから、

物やいろいろな事を今までよりもっと大切にしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、直経約200mの原爆が「こまでの
 の被害をもたらす」という事を今日初めて知った。
 原爆はただの爆弾ではなく、その熱さの
 よって、いっしょに人が消えてしまったり、大け
 どをしたり、被爆してガンになることは知って
 いたけど、被爆が「遺伝」にもかかわること
 だとは知らなかった。被爆した人たちの
 話を聞いた時はおどろいて、少しはわか
 ったけど、それが現実にあったというのとは
 全然に違った。原爆の温度にもおどろいた。
 太陽が、東京スカイツリーの第二展望台の辺
 りにあたらしたしかにおそろしい。私が、この
 授業で学んだことは、戦争で原爆を落と
 されて多くの人が亡くなった、傷ついて悲
 しい姿になってしまったので、戦争は二度
 とくり返してはいけないという事。それと、
 原爆のおそろしさが分かった。今原爆は、
 どこの国にも絶対に作ったり落としたり
 してはいけないと思えた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

1/1

ぼくが、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受けて着しいに残ったのは1kgのウラニで広島市が非惨な姿になってしまったのであれば、60kgではどのくらいの威力があるのかと云うことです。ゴルフボール一つ分のウラニが1kgもしたのもびっくりしたし、60kgあれば、広島県全体が非惨な姿になってしまうと思います。想像しただけでも鳥肌が立つくらい怖い話ですが、実際にあったことなので、こういうあやまちを二度と繰返さないようにしないといけないと思いました。そして化学兵器(主に原子力爆弾)を使わないように後世に伝えていけたらいいと思います。ぼくも、原爆ドームや資料館には、行ったことはあるけど、実体験者の話を聞くと、さらに、原爆の怖さが伝わってきました。そして、原爆を亡た方々をかれいそうに思います。また、今、自分が生きて、食^たべものに困らず、平和に暮らしていることをうれしく思^いい、感謝したいと思います。そして、この経験をバネにして生きていきなさいと思います。ありがとう
ございました!



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は今まで本やマンガで原爆の被害を知っているつもりでしたが、今回の授業を受けて、そんな軽いものじゃなかったことが分かりました。実際の体験をしっかりと自分の耳で聞くのは大切なことだとも思いました。それで、私は原爆資料館に行ってみたくなりました。原爆先生とお父さんは「きれいすぎる」とおっしゃいましたが、本物を見れるところは資料館しかないと思ったからです。今すぐに行くことはできませんが、いつか行ってみたいと思います。今回の授業で私はいろんなことを学びました。原爆のことをあまり分かっていない子どもや大人はたくさんいます。これからも、活動をがんばって下さい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話を知り、
リトルボーイのおそろしさを知り、これ
からは、戦争はいいないけれど、先
進国どうしの戦争はぜったいにやめては
いいないと思います。リトルボーイだけ
でも死者は二十万人をこします。しかも、
それは、ゴルフボールの大きさの物が爆
発しただけと言っていました。だから、今の
先進国どうしが戦争するのは危険
だと思います。また、原爆は、何もして
いない人にも害がかかります。広島と長
崎に落ちた原爆もそうでした。大人
だけではなく、子供の命までうばってし
まいます。だから戦争はだめだけれど、
先進国どうしでの戦争はぜったいにい
けないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して原爆は思っていたよりもとてもおそろしいものだということが分かりました。原爆についておどろいたことが四つありました。一つ目は原爆ですべてが一瞬で消え去ってしまうということです。本当に一瞬で無くなってしまったと言っていたのでとてもおそろしいと思いました。二つ目は、原爆の放射線でガンや病気になったり広島市の死亡率が40%だったことです。私は5人に2人が亡くなったと聞き、とてもおどろきました。三つ目は、衝撃波の速さが毎秒500mだということです。音速と比べて一秒150mも速く進むのでとても速いと思いました。四つ目は、リトルボーイのウランの1kgで広島市が無くなってしまったということです。たった1kgで広島市が無くなり、とても悲しいと思いました。他にもいろいろなことが分かりました。でもすべて現実なのでとても悲しいです。今、平和な私たちはとても幸せだと思



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

ぼくは、今日原爆先生の話聞いて、戦争の怖さ・恐ろしさを改めて感じました。先生が話していることを想像しながら聞いていました。「人間が人間ではなくなる」のところを聞いた時は、想像もつきません。「皮がはがれる」のところなんて、考えただけでゾクッとします。うじ虫が死んだ人についているところを想像した時も恐ろしかったです。今、社会の授業で戦争の時代を勉強しています。資料で少年が赤ちゃんをおんぶしている写真を見ました。怖かったです。ぼくは、戦争に行ったこともない、戦争の時代に生まれてもなくてです。だから、戦争体験者の本当の気持ちは分かりません。でも、当時の写真・資料から読みとれることはあります。だから、広島原爆ドームに行って、写真や資料から、当時の気持ちは読みとりたいたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

私が、原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して、思ったことや、感じたことは、それぞれ、二つずつあります。

まず、思ったことの一つ目は、今は、私たちは、こうして、くらしているけれど、戦争の時代や、広島や、長崎に原爆が落ちた後との暮らしが、本当におどろくほし、ちがいがあったので、びっくりしました。二つ目は、原爆先生の父が、実際に原爆を体験したので、私たちが、その話を聞けてよかったと思います。

私が感じたことの一つ目は、私が思っていた以上に、原爆にあった人たちは、過酷だと私は感じました。それより私は、もう一つ感じたことがあります。それは、原爆先生のあの、「両手をななめ前にたらししている」という言葉を聞くだけで、むねが、痛んだことです。しかし、私にとっては、とっても良い機会でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1(金)

私は原爆ドームのことを聞いて、原爆はひどいと思っていたけれど、それ以上に残酷がひどいことだと、改めて思いました。

原爆についての資料館の被害にあつた人の人形を見てすごくリアルで見られていくらいだったのに、原爆先生のお父さんは、「きれいすぎる。」と言ってびっくりしました。この人形以上にひどい姿だったのだと思っ、すごくみさんだと思ひました。そして原爆先生の話とお父さんの話は同じくらいに長く感じました、それは、お父さんの流した涙、そして救ってあげたかた人の話。5年前に亡くなつたとは言つてたけど、人につくしていてすごいと思ひました。

実際の広島原爆ドームを見たことはないけれど、写真や話からとれた残酷なものか分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/11

今日 原はく先生（広島に
おとされた原はくのことを話して
もらうはくは、原はく先生が
言っていた原はくのおそろしさが
ひかいてくれた人たちの
ことなどを聞いて涙が争は
みんなかへこぼし合っているけれど
中には、なににもつみのない人たちが
空（や）が原はくで、たぐさぬの人か
なくなっているのを知りました。はくは、
今日 原はく先生が言っていた
ことをわすれないうりに
したいと思います。
こういった原はくのおそろしさを
今の人たち、これから生きる人たちに
語りつづけるのは、大事なこと
だと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生の話聞いて、広島に原爆が投下されてどんなことになったか・どんな被害が出たかなどを知ることができました。また、ながさきへの原子爆弾投下のことや、原子爆弾投下都市の条件のことや、リトルボーイのことなども知ることができました。

一番心に残ったのは、原子爆弾の強さです。原爆を投下したら、いっしょんでたいへんなことになってしまふことにおどろき、とてもきけんな物と感じました。そして熱線が太陽よりもあついで重しゅうなやけどをしてしまうことも分かりました。あふがたれさか、てうでをよこにするところれていたいののでうでを前にたして歩くのを知って原爆のおそろしさを知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくはおどろいた。なぜなら池田先生の授業が思っていたより素晴らしい言葉だったからです。

特に本の内容はその時の広島の様子がうかんできて、何回もと中絶しはたしが止まりました。

また、たった600m上に太陽の表面温度の6000°以上の物があり、それから500m/秒のようげき波と光の速さ(30万km/秒)の熱線と放射線が出ていると思えばとてつとします。だから、ナガサキの原爆が3kmも敷からずれたのは不幸中のさいふだと思えます。

また池田先生のお父さんが「手ぬいすき」と言ったのにおどりました。日本人もいるのに、生かさしと言ふほどのひどさだと言ふのが分が久もつたことではいけないと思えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原子はくたんが、と、
てもおそろしいの、と
あらためて思いました。

国語の授業で平和のことを
ならっていたとき、Aさんがはくたん
のことを言っていたことを思い出し
ました。9番の写真を出して
説明をしていたときは、あまりこわ
くはなかったけれど、授業を受け
て本当に戦争はイヤなど実際に
多くの人が死んでしま、たので
と、ても悲しいです。

熱線などとてもがなしくていた
いたしいものが、たくさんあり、
うけた人は、たいてい死んで
しまう。私は、そんなこと今され
てしまうと、かがくがしんぼして
いるから、日本がなくなってしまうか
もしれないので私はせつたいていイヤ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/1

私は今日原爆先生の話を聞いて自分がかんたんに「平和が大切」と言っていることが、どれだけ失礼だったかよく分かりました。原爆が落とされた広島では兵隊が死んだ人を苦しみながら集めて燃やしたと聞き、私は「思わすふる。」とふるえ上がってしまいました。また、広島市の人々の40%、5人に2人が亡くなり、70%の人々がひばくしている、つまりほとんどの人々が苦しんでいることが分かり、命の大切さを改めて感じました。

ひばくした人々が手をななめ上に上げてされると皮がはがれ、油のようなものが出てくるなんて想像もしなかった。下原爆のおそろしさを知れました。しかし、本当にあったことよりは軽く展示されています。なのできちんと正確に伝えることが大切だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/1

今日、原爆先生の授業をうけて、原爆の勉強をしても分からないことがたくさんありました。最初の話聞いていて、軍に入ると、大変な作業もしなくちゃいけないなんて、大変そうだなと思いました。

私は、長い時間、話を聞くことが苦手なだけけれど、原爆先生の話は、真剣に、聞くことができました。先生のお父さんの動画を見ていたとき、胸が痛くなり、なみだが出そうになりました。たぶん、話をしているお父さんも胸が痛く、つらかったと思います。原爆の悲しい様子が、本当に見ていなくても、目に浮かんできました。もう二度と、このようなことをしてはいけないなと思いました。原爆は、「わい物」だとは知っていたけれど、今日、授業をうけて、「わい」以上の物なんだなと思いました。今日聞いた話は、もう聞くことがないので、忘れないようにしたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初は話を聞く前、ちょと「ソワッ」としてました。今まで勉強した中で戦争の話を知りたくて聞きたかったからです。

けど、だんだん話を聞いていく内に、何だか「こわい」ではなく、「あそろしい」と思いました。だから二度と戦争したくないと思いました。そして話を聞いていく内に、だんだん想像出来て、手がだらふんとしてる人や、苦しむ人が頭に浮かびました。そして、たいてい人は痛みに苦しんだと。だから、骨折してしまったり自分の物が全然大丈夫だと思えました。

やはり、教科書や本で見るより、本当に体験した事や本に書いた事の良く分かった気がします。だから、今まで思っていた戦争のことより、話を聞いた後の方が戦争の苦しさ、痛み、ざんこくが全て分かったように思えます。だから戦争はやめてはだめと教わったのが、たのしみです。まずは自分からやめたかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

きょうふい、それしかなかった。初
めちょっと怖い話をするのだ"と
思っただけと想像以上だった。話された
こと、ほんと"が"また心に反響して
いる。ぼくはふふかずるずるとおち、はかれ
て、人間だけと人間じゃない姿で「助けて
助けてーって」聞いただけでもそっとする。想
像してみた。ふつうの人間がーしゃん
のうちに「ヒョーン」黒こげ"の人間じ
ない姿でもなんとか生きようとしてくる。それ
にきれた"った町が"アインなど"ある町
が"はかりされたツーンみたいに、いや、そ
れいじょうかもしれない。想像したか
想像するだけ怖い。怖い。その池田義三さん
は広島資料館へ行って、マネキンを見て
「きれいすぎる。と。きょうと今、ぼくが思っている
きょうの戦争と池田義三さんが"実体験した戦
争とほと"遠く、自分が"想像できないほど"のいごとだ。
ぼくはこの話を聞いて、今が"平和だ"からこの話が聞ける。
だからこの平和を大切にしたい



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

今日、ぼくは原爆のおそろしさを知りました。

原爆先生が、それを伝えてくれました。

原爆は、上空1万m以上の所で落とされます。

爆発時、外、7000℃、中心、100万℃、地面

3000℃と言います。ま下にいる人は、二枚で大切な命

が灰になり、近くなければ、生かれています。人間とは、

言えない感(しん)じなってしまうと先生は言っていました。

そんな中で、外人は、原爆を落として逃げます。

さらに外人は、爆発の写真もとり、しょうこももります。

人(日本人)が、こんなに苦しんでいるのに原爆を

落とす逃げるのは、最低な行為、人をふみにしているよう

なことです。原爆を落として、うまい事なと

りません。村や町、景が「はげかて〜」・「ふれて〜」

などの声かいて、泣き声かいて、周りの

人も、苦しみます。

ぼくは原爆を落とすことで、国と国の対立が

高まり、けんかする一筋だと思います。

なので、身(み)にこころ、気を付けることが、大切(たいせつ)な

かなーと思いました。とても、今日の話は、心に残りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

私は原爆先生の話で広島に投下された原子爆弾がどんなにおそろしいものであるかを知ることができました。私は今年の夏、広島に行き実際に原爆ドームを見たり、平和記念資料館にも行きました。そこには、見つかった遺品や黒こげになったかみの毛、皮ふが溶けたろう人形など見ただけで原爆のおそろしさが分かりました。私は、ろう人形を見たときになせ手を前にしているのか知りませんでした。でも今日、原爆先生がわきかすれて痛くなるからということを教えていただいたのでよく分かりました。また、原爆先生のお父様が小さな男の子のお姉ちゃんを助けたという話は、とても感動的でした。原子爆弾を投下させるためには三つの条件をクリアしなければいけないということを、私は今まで一度も聞いたことがなく、おどろきました。原子燃弾は、たくさんの人の命をうばい世界を不幸にするということを改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1111

ぼくが、今日原爆先生の特別授業
 で分かった事は、やっぱり原爆は、おそ
 ろしい事だと思いました。ぼくは、原爆
 の事は、知っていたけど、いつどこでな
 どがあまりわかりませんでした。そして
 話が始まりました。最初の話は、メモを
 しないで聞く時でした。その話は、すご
 いぞんこくで聞いているといやな気
 持ちになりました。でもこの話
 は、昔に本当におきた事だからしょう
 がないと思いました。次は、メモをとる
 になりました。そこからは、そんなぞんこくで
 はなく、いつどこでなどが中心に話
 していました。次は、またメモをとらな
 いで聞く事になりました。それもぞんこ
 くでこわかったけどがまんしました。そし
 て話が終わりました。ぼくは、なんで
 原爆など人を何十万人も殺す物をお
 とすんだと思いました。それはなくればい



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/1

今日原火暴先生の話を聞いて
とても悲しくなりました。

広島にすんでいた人はとても残念
だと思った。原火暴先生は
17才なのに軍隊に入ったなんて
かわいそうだった。父はたしさん
の人を名付たので、はの人
だと思いました。

ぼくも原火暴先生の父みたいにな
たのもししいやさしいゆうきか
ある人になりたいです。

あと原火暴は一秒もしないで
ぼくはつるので毎日セヤ一秒
を大切にして生きたいし生きて
ることをほこりにおもってこの
あとの人生にいかしていき
たいです。本当にいいけい
けんになつてとてもうれし
かったしばんきうになりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞き、国語で、原爆はとて
も「ひさん」という事が分かっていただけ
改めて、ひが、たのた」と感じます。

ほんと、地面が3000メートルも落ちて、さらに、真
空に落ちたりと、とても恐怖を感じました。

さらに、大やけどで、手を、肘の真前にして、
ては、つらか、たり、やけどした人のうでを持って

皮がずりむけたり、今では考えられなく、

小さな子も同じようにして、亡くた。

ていきました。話を聞いたり、写真を見

たりして、とてもかわいそうで胸が痛く

なりました。原爆は、熱線、衝撃波

放射線という、最悪な状態でした。死んで生き

きよう、かんげろうという気持ち

た、たのかと思います。今、私は、朝、昼、晩

ご飯を食べ、安心して、ベッドへ入り、学校

に行、ています。ふつうの事だ、と、ひさんた、原爆

と比べ、ると、とても幸せだ、と思い、生きていき

た、です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

//

ぼくが一番心に残っているのは、原子爆弾の
いかなです。太陽よりも 1000°C 高い熱を発生し地上
では、鉄を溶かしてしまふ熱さの倍の 3000°C もあるそ
うです。また、ゴルフボール1個の大きさのウラン(1kg)で
広島をばかいてしまう、というのが心に残りました。
今日、池田先生のお話を聞いてくわしく原
爆のおそろしさを知りました。例えば、原爆投
下付近の人達は皮膚がはかれ落ちていて全身ヤ
けどしているということです。もともとそういう事
になっていたのは知っていたけれど今初めてくわ
しく知る事が出来ました。

ぼくは、池田さんの原爆のおそろしい言
話を聞いて、もっと一人一人が平和について
考えた方が「良い」と思いました。ぼくも、改
めて平和の大切さを知るとしてもいい経験
になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

私は、原爆先生のお話を聞き、今まで以上に原爆がおそろしく、言葉では表せないほど、ひどいと思いました。被がい者の方々は、皮膚がなくなり、赤い肉が見え、ほおがみえそうなるほどひどい方もいたと聞いて、足がふるえました。それを見た池田よしろうさんは、原爆資料館のひどいやけどをした人のもけいを見て、「こんなじゃなくもってひどい」といって泣いてさうです。私は、考えつかない位、ひどいと分かりもう二度とこんなひどい事が起こらないでほしいと思い、悲しくなりました。今でも、福島の人々は放射線で、いままで住んでいた家ですめなという人もいるのではやく住みなおれた家づくりさせるようにしてほしいと思いました。私は今度、原爆資料館に行き、原爆に苦しんだ人々の気持ちを考えてみたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は一回、平和記念資料館に行って原爆のおそろしさをたくさん知りました。でも今日の池田さんのお話を聞いて、原爆の被害やいかにのおそろしさを改めて知りました。特に印象に残ったことは、池田さんと義三さんが平和記念資料館に行った時見た被爆者を再現したマネキンが「きれいだった」と言ったことです。私はあのマネキンを見た時、顔もはれて、うでにひふがぶらさがっていて、本当にこわかったのに、あれで「きれいだった」と言ったということは、本当の被爆者の様子はもっとひどかったということがわかります。それを考えると本当に本当にこわいです。そんなひどい様子の人々が「助けて……って言ってよってきたら助けてあげたいのは山々だけど、こわすぎて私たちがたすめられないと思います。そんなしょうきょうでたちむかった義三さんは本当にすごかったです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話で、原爆のおそろしさを、改めて感じる事ができました。

原爆先生のお父さんの話では、原爆によってたくさんの方が亡くなったり、苦しんだりしたことがわかりました。原爆の被害を受けた人々が、人間には見えないような姿だったという話や、先生のお父さんが死体の搜索をしていた時の、死体の様子のお話などで、原爆がどれだけおそろしいかがとても伝わってきました。

原爆の力の話でも、おそろしさがよく伝わりました。原爆を落とされることは、太陽が東京スカイツリーくらいまで来ることと同じだという話では、原爆は想像できないほどおそろしい物なんだろうなと思いました。

原爆先生の話では、この紙には全然書ききることができないほどのたくさんのお話を学びました。でも、一番思ったことは、このようなおそろしさを忘れず、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

二度と同じことをくり返さないようにしなくてはならないという事です。原爆先生の授業は、このようにおそろしさを改めて知る、とても貴重な経験になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の話聞いて、原爆はおそろしいもの
だということが改めて分かりました。国語の「平
和について考える」の授業で、原爆のことを話し
ている人がいたのが、原爆はどのようなものか、あ
るていどは知っていました。だけど、今日の話で、
もっとたくさんを知ることができました。

どの話もおそろしいものでした。でも私が一番「わい
い」と思ったのは、原子爆弾が爆発した時の熱さ
です。太陽のような熱さのものが地上に落ち
てくる、そんなことをきいて、すごくこわかったです。ま
た、この熱さにより、大やけどしたり、ひらがむけ
しまったり、本当におそろしかったです。こんなにお
そろしいことを経験した人たちが、とてもかわい
うに思えました。

原爆は、たくさんのお人の命をうばう道具だと、私
は思いました。原爆先生の話は、とてもこわく、
おそろしいものでしたが、命の大切さを知ることが
できたと思います。原爆先生の話聞いたことで、
原爆についてたくさんを知ることができ、命の大切さも分かって



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

□ぼくはこの特別授業を聞いて改めた
めて原爆はすごいものだとおかしたし
た。 金

□理由は2つあるー

□1つめは熱系泉です。原爆の中心温度
は100万度表面は7000度熱系泉が3000度
です。金鉄のとき温度が1500度で熱系泉
は毎秒3万km³なのが多くの人間が
一瞬で炭になるということがおおいと
思った

□2つめは放射系泉です。原爆をうけ
ていきのこ。これも放射系泉のせいきょう
でげりやおうと、がん細胞になったり
染色体がはかいされたりして色々な病気
になるから原爆はス、ていけないもの
だと思ほした

□一発の原爆で何万人何十万人の命が一
瞬でけさるだから原爆はス、
ていけないもの存在してはいけないものだ

思ほ
した



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/1

私は今日の授業で戦争のむさ
んさ、原爆の恐ろしさを改めて感じま
した。私は「はたしのゲン」という
まんがで原爆のことを知りました。で
も今日の授業で教えてもらった
原爆のことは、まんがで見た原爆
よりも何倍もおそろしく、まいてい
ると、とりはたかたちました。

話のおわりごろにあった、助けてあげ
た女性から手紙がきたことがあった
ときいたとき、私はすごく感動しまし
た。70年も前にあったことなのになあ
と思いました。

私は話をきいている時、トラックが
うかんばかり想像することができま
した。

これからも、原爆のおそろしさ、平和であ
ることの大切さを伝えていってほし
いです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日、改めて原爆のおそろしさをしりました。

ぼくは最初一番被害の大きい東京におとさなかったのだらうと思、ている時、原子爆弾投下都市条件の話聞いて、理由分かりました。また、京都が第一希望で最初落とそうとした理由も分かりました。

広島に落ちた、「リトルボーイ」の説明を聞いてぞく、としました。また、後ろにある翼のような物は回転を止め、安定させるためだと言っていたのがとても印象に残っています。飛行機幾の場所から目的地までを6kmも遠くで落としたのは知りませんでした。

また、原爆が暴発すると、表面温度が、7000℃で、太陽より熱いということにとてもおどろきました。

この話を聞いて、原爆はもう落としてはいけない、使わないというのが、とても伝わってきました。また、最後の映像を見て、さらに強く使、てはいけないという気持ちが伝わってきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話を聞いて、前
まで知らなかった事がたくさん分か
りました。私は、前まで原子爆弾を
細かく調べたこともなかったし、それにと
もなう人々のたくさん被害や、けが
、病気のこともまったく知りません
でした。でも私は今日話を聞いてい
てうっすらと頭の中でその爆弾が
落ちてきた時の風景や、皮がはかれて
うずくまっていた人々の顔をうかがうこ
とができました。私が体験した災害は、
たった7つ東日本大震災だけだった
ので広島や長崎の人は、原爆が落
とされたのが私ほどともかわい
そうだなと思いました。なのでもう
外国などに勝手になくとも原子
爆弾を落とせばいけないなと
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業で戦争は
どのようなものなのかなど私た
ちが今知っておかなくてはいけ
ない戦争のおそろいさを写真を見た
りして知ることができました。

「ピカドン」という言葉を聞いたとき

それはまさに「かみなり」とい、しょ
と思いました。なぜかという

「かみなり」も「ピカッ」と光り「ドン」と

大きな音をならすからです。かみな

りでもこわいと思、たことがあるの

で、その原子爆弾はどんなにおそ

ろしいものなのかなど知ることが

ができました。「今は日本は

戦争をしてい、ないから戦争の話な

んでどうでもい、い。」でもそうではな

いこと。たしてそう考えてはいけな

いことがよく分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話を開き
 原爆のおそろしさを感じました。
 原爆のことは調べたりして知って
 いたけど話を聞くと想像以上おそ
 ろしかったことが分かりました。
 太陽よりも熱い熱が爆発した
 時に放たれると聞いてとてもおどろ
 きました。それで人間は水分が蒸発
 し、衝撃波でくたかれ、焼け死んで
 しまうんだそうです。これを聞くと
 もっと原爆はおそろしくて二度と落
 としてはいけないと思いいまし
 た。池田さんの話では道を通る人が
 人間ではなかつた、つまり、全身に大やけど
 をし皮ふがむけていた、そんな状況
 だったそうです。今日の話で原爆のおそ
 ろしさ分かり、そして今はとても平和
 だということが感じられました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

141

原爆先生の話を聞いて、自分は
やっぱり原爆なんていらな
いと思ひました。広島だけが
重い気持ちじゃなく、ながさ
き、きょうと、おはま、いしがた、なと
か、こづまに上つていてなが
さきもおとされて、手をゾンビ
みたいにしていて、ないとい
ふ、わきのしたか、いたい
といつていて、自分は、はたし
のケツをよんで、いんしょう
りもはるが、に、グロイとい
うかんじてました。

自分は原爆の、あさ、とい
う物をしっかりと、うけとめ、
「戦争はやめた」と言つた人
だから、ちゃんと、戦争になら
ないことをしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

先生今日はありがとうございました。
先生のお父さんのつらさがすごく
分かりました。お父さんは、きせきの
に、ドラムガンのところにて原爆が
おとされても、無傷なんて本当にすごいと
思います。

やはり、原爆はせつたい使っては
いけないものたいて思います。町を
破かいし、人々はきえさる、たからせつた
い使ってはいけないと思います。

今日の授業で、昔の人々のつらさが
分かりました。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/11

ぼくは今日の授業をうけて改めて原爆の怖さを感じました。とくに池田さんのお父さんの話が怖かったです。原爆を受けてしまった人はすごい苦しんでいたんだなと思いました。その話を聞いているときに怖すぎて足が重くなっていると感じたときがありました。この話を聞いてよかったですなと思います。これは原爆投下の都市の条件です。10月は直径5kmを超えること。20月は平野であること。30月は空襲がなかったということです。そんな条件までたてて、計画的に原爆を投下していることがびっくりしました。今日のこの話を聞いてやっぱり原爆は怖いものであり人を苦しめてきたということがわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/1

私がとくに心に残ったことは、広島に落ちた原爆の話です。広島に落ちた「リトル・ボーイ」はウランでできていて、核分裂をおこしたのは60kgのうちの1kgだとおっしゃっていました。1kg(ゴルフボール1つ分くらい)でも広島町の町はがれきでうめつくされるなどしているときは、原爆の威力の強さを痛感しました。

前半の池田よしろうさんの体験の話では、実際あったことを想像してきていると、とても原爆はおそろしいものだと思いました。爆心地の中心に近づくほど、人ではなくたふっていたとおっしゃっているのをきき、こわさと同時に少し悲しい気持ちになりました。1発の原子爆弾で人も町もひどい状態にさせてしまうというこわさがありました。でもこのようなことは、実際に起きたことなので、きちんと受け止めなければいけないと思いました。

現実を知り、受け止めることで、二度とこのようなことを起こさないようにしていくということが大切なのではないかと私はこの原爆先生の特別授業を受講して思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

111

ぼくは、原爆先生の言^{こと}を聞いて、原爆が投下されると、こんなにすごいことになることを知りました。原子爆弾投下の理由は、どのくらいの破壊力があるのかを試すためにやた^やた^たということば、ひどいな^{ひどいな}と思いました。「リトルボーイ」という広島に投下された原爆は、つばさがついていて、それが、かいてんしていたのをとめるはたらきをしているなんてすごいな^{すごいな}、と思いました。6kmくらいから原爆を落とし、200mしかかわらないのはすごい^{すごい}と思いました。自分から約600m上では、太陽よりもあつ^{あつ}い^いち^ちがあるなんて、考えられない^{考えられない}と思いました。死亡率40%もあるのもう原爆はにど^{にど}と落としやない^{やない}でほしい^{ほしい}と思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私がまずおじろいたこと、初めて知ったことは原子爆弾を投下する都市の条件があったこと、そして、原爆を投下する場所の候補などもあったということでした。原爆が落ちたのは(落とされたのは)広島と長崎だけということしか知らなかったのですが、ほかの場所もねらわれてなんて思ってもいませんでした。原爆は、とても熱い、と聞いた事はあったけれど、まさか中心部分が100万℃で外側下も7000℃さらには地面も3000℃で表面の温度が6000℃の太陽よりも熱いなんてひどいと思ひ、何もそこまでやらなくてもいいのではないかと少し人下ろう考えていました。ひどいと言われる原子爆弾がどれたけひどいかをじっくり考え直す時間でした。このことを次の世代に語りついでいきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

今回の授業は私にとってとても貴重なものになりました。

私は国語の「平和について考える」という単元で、平和を目指すなら、まず戦争について、もっとよく知るべきだと考えました。過去の人類がおかしたあやまちを、もう一度とおこさないためです。なので、今日お話をきくことができて、とてもよかったです。そして今日のお話の中で一番心に残ったのはスライドの一番始めの画像です。

立っている棒は建物の骨組みでしょうか。何にしても、そこに多くの人が住み、笑いあっていたことなど、どうも思えませんでした。今年の終戦記念日私は78歳になる

祖父と77歳になる祖母に話を聞きました。学校に行けず、外で遊ぶこともできず、いつくるかわからない空襲におびえる毎日。想像すらできません。祖父の地元は長崎県。8月9日

午前11時2分に原爆が投下された爆心地から一山越えたところに実家があったそうです。当時祖父は中国にいる軍の物資を運ぶ仕事を祖父について中国に行ったので無事でしたが、祖父の(義理の)兄弟が亡くしてしまっただけです。お話にあったように、皮ふがやけたら、苦しみがまはからせくなっていったのかと思うと、

涙があふれてきました。長崎と同じように広島でも、これからいっはい楽しいときをすごしていくはずの尊い命が、領地や

権力などという(悪い言い方かも知れませんが)下らないもの
のために、同じ種族で手を取り合えなければいけないはずの
「人」の手で、一瞬間のうちに消え去ってしまったのだ」と考えると
いかりやくやしさを悲しさが胸にいっぱいこみ上げてきました。
原子爆弾投下都市の条件に、空襲がないというものがありました
ましたが、それは、空襲からの恐れようと、安心と平和を
求めてくれた人たちもたくさんいるということではないでしょうか。
安心を、平和を求めたはずなのに手に入れたのは恐怖や悲しみ、
いかりもあってでしょう。わたしはそのように日本が不幸
のどん底にいた時代をわすれたいではありません。今わたしたち
が笑っていられるのは、昔の人が必死にがんばってきてくれ
たからだとおもいます。昔のことを昔のままにせず、今に
未来につなげていけるようにしたいです。そして昔の人は
戦争のおそろしさを原爆ドームという形で残してくれました。
わたしも一度広島に行ってみたいです。そして、もう一度と原爆
による被害者がでないように、私一人の力は弱いかもしれないけど、
みんなの力を合わせてがんばっていきたいです。

貴重なお話をきかせてくださり、ありがとうございます

ございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

初めの方にトラックの荷台につもうとして手を貸したら皮ふがぬけてしまっ。て転らしてしまっ。たと言っ。ていたけどその後そんなことにかまっ。ていっ。られないと言っ。ていておどろきまっ。した。ほく。だっ。たぶ。こしをぬかすところかおびえまっ。てトラウマになりそうです。しかも自分が手をのばして皮ふがぬけた感。し。くを想像するた。けでこわい。です。た。か。池田さんは重労働の中でかた。れたことか。す。ご。い。と思っ。い。ま。し。た。ほく。はそんな経験はしたく。あ。り。ま。せ。ん。池田さんの言っ。た通。り「ワクワク」も「楽しい」もな。い。で。た。か。ら話。し。て。く。れ。た。こ。と。は大人になっ。てもわ。か。れ。ま。せ。ん。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

私は原爆の話を知りて学んだことは
 本当の事実も受け入れられなまやいけないと
 いうことです。いやな事実をさけていても
 なにごともかわらないと思ったからです。この原爆
 の話のことをおすれずにとりたいと思いました
 た。池田真徳さんのお父さんの話はさいて
 いるだけで「よく」と言われた 広島市のあた
 り一画はすべて灰色で、人はほとんどたおれ
 ている。とてもこわいと思いました。直径が
 200mで、熱さは、7000℃もある物がおちて
 くるなんて考えただけでもとてもこわい
 と思いました。広島平和文化センター
 の焼けてしまった人の姿を見てとてもおそ
 ろしいと思いました。おれは、おれは、おれは
 、、、のお父さんが「きれいすぎだ」と言っ
 ていてびっくりしました。まだ、原爆のこ
 とを知らない人がいるなら、このことを話
 してあげ、二度とおこらないようにしたい
 です。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1 (金)

僕が原爆先生の特別授業を受講してとても
印象に残った事、五つあります。一つは、物資の運搬中
に一発の原子爆弾が落ちた事におどろきました。

それとドラム缶の音の状態にいても約10分吹き飛ば
している事、印象に残りました。二つ目は、原爆先生のお父
さんが被爆者の様子を詳しく日記に残していた事を語
った事として、胸が打たれました。手を回して歩いている
「足がおい落ちてくる等」と、音教、国語の平和に
ついて教える授業の信、受講の様子が真剣な事
という事を発見している。そして、原爆を兵隊亭はね
つける事、事、悔いしてはいけません。

三つ目は、原子爆弾の威力にも驚きました。

特に驚いたのは、爆弾の核心の温度で約100万℃。
可成りの温度でも約7000℃といわれ、とても恐怖を感じ
ました。そしてこの影響で、防火槽の中にある人が、腹の
あたりまで水が減っていた事も驚きました。

四つ目は、工場まで戻る時、男の子が「兵隊亭の下の野
にしているのに、兵隊亭、瓦礫の下にいる女性の
救出作業」として胸を打たれました。

五つ目は戦争終結の原爆先生のお父さんと原爆先生の原爆

ム行の被爆者の人形に対し「美しい」とした事が驚きました。

僕は大人なては、この授業の乾胸典にはついて、

戦争は初。今度原爆をみる事は、

この授業を受講しては、有難うさうな。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/1

私は、広島におじいちゃんとおばあちゃんがいます。おばあちゃんは資料館で原爆のことを伝えるピースボランティアという活動をしています。夏休みに2学期になったら「平和」という授業をすると言っていて、原爆ドームのことやると言っていたので、資料館を見ました。私は、先生が話していることの中に知っていることもありましたが、知らないことがたくさんありました。お父さんの話は、実際に兵隊ではないと分からなかったことを話してくれたので勉強になりました。お父さんの話の中には、原爆にあった人々の話が出ていて、その話を想像しただけでとてもこわくなりました。私ならにげだしていると思っ、てびっくりしました。にげだしたいと思っ、てもちゃんと命令にしたがってほしいと思っ、ていました。私は先生が資料館の説明をし始めたとき、おの人形が出てると予想していました。私は初めておの人形を見たとき、こわくてこわくて何週間ぐらい夜、ねれませんでした。でも、先生のお父さんが「まじいすき」と言っていたというのを聞いてびっくり

りました。私は先生かあの人物の写真を出したとき、
びっくりして下を向いて身をふさいでいました。実際はもと
ひどいものだと知ってふるえてしまいました。でも、こうい
うことを知って、私たちが次の世代へ伝えらるって
原爆のこわさなどを知らせないと意味がないと
思いました。そしてこういうことを二度とさせないことが
大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは5.6時間目に原爆先生から、原爆のお話を聞かせてもらいました。原爆のことは、少しだけしっていました。なぜかという国語の授業の「平和のとりでを築く」ということで学んでいたからです。ぼくはその授業のときにも、「むごたらしい」と思っていました。しかし、原爆先生のお話を聞いたら、もつと「むごたらしい」と思いました。ぼくは、「なぜ人を殺してでもリトルボーイという原子爆弾をおとして、それを実験しているのか気になりました。熱線が光の速さということが今回わかりました。熱線が太陽より熱い7000℃もあるということがわかりました。その中、生きている人がいるということが奇せきではないかとぼくは思いました。原爆は二度と起きてはいけないということがあつためてわかりました。そういうことがわかると、実に原爆が起きたときにたずかるかもしれません。そういうことを考えると、原爆先生は命の恩人です。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

ぼくは今日の池田さんの話をきいて日本は昔ものすごかないにじがあることをりました。日本は、アメリカ軍からのこうげきてたくさんの人々が死んでしまったのがかない。

今日は空しのおそろしさをりました。爆弾は中心が100万じで外側でも7000とといら太陽よりも熱いなが、ちしに生きようとするかたがかないく

体が黒くやけどをおてるというのがこおた

でもその人たちを守ってあげたいと思、た、池田さんの

父はとてもすごいと思、う。ぼくだ、たらこおて

すぐにげているかもしれせん。

今日のお話は、さしなにい、ていた通り、将来まで

頭にのこ、ているかもしれな、い。

こんな風な体馬金はもな、いかもしれな、い。

だからこの原爆のおそろしさを、す、と死ぬ

まじ、おほ、えたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/2

私は先生の授業を受けて、戦争
原子爆弾が広島県に投下された後の
様子などとても貴重なことを聞けてとても
良かったです。私たちは国語でも平和につい
て考えスピーチにして発表しました。
そのときに知らなかった情報を教えてもらえて
ビックリしました。私の中で印象に残ったの
は原子爆弾の熱さが太陽をこえている
ということです。そんな中で生き残った人は
奇せきた"と思いました。それに条件が
あるというのはビックリしました。それが
天候によってまた変わる小倉は運がいい
と思いました。今日みたいな話は
もう聞けないと思います。年がたつにつ
れてみんな忘れかけていくような
話ではなく戦争のことについてより
深く考えていきかけだした"と思いまる
今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/1

原爆先生のお話を聞いて、私は原子爆弾が投下してきた時は、自分が想像していたよりも、とてもつらいことが分かりました。特に印象に残ったのは、池田貞徳さんの父の動画です。「痛いよ 助けて 痛いよ 助けて」という言葉は、一瞬でどれだけつらいかが分かり、胸が痛くなるほどでした。原爆ドームにかざってあった、被害を受けた人の人形を見て、「とてもきれい」と言ったことも、強く心に残りました。そのことを聞いて、あの時、どれだけ苦しいか、痛いかが改めて伝わってきました。私は実際に体験した出来事ではないのに、今日のお話を聞いただけで、なぜか私が実際に体験した出来事のように感じました。私は、今日のお話を聞いて、戦争の苦しみが、やっと最後まで分かった気がしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

111

今までは、原爆はこんなにひどいものだとは思っていませんでした。原爆先生の話を聞くと、とてもこわくなってきました。

同じ人間なのにどうしてこんなにひどいことをできるのか悲しくなってきました。

私はこのようなことを二度とくり返してはいけなそう思いました。

原爆が落とされると、人間は人間ではなくなってしまうと聞いて、くり返さないように、次の代の人たちにも永遠に語りつがなくてはならない事実だと思いました。

今日このような話を聞き事実を知ることができたのでよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/1

私は今日の原爆先生のお話を聞いて、原爆は
いっしゅんで人間が死んでしまう最悪の兵器
だなぁとあらためて感じました。

広島市に原爆が投下されたことは、国語の授
業で学んだりして、私のお母さんから原爆の
話は聞いたことがありました。

私が、今日の話で心に残ったことは、池田さんのお父
さんが体験した話です。それは、「にげてこっちに来る
人たちがはじめの人は人間の体つきをしているが、
とんどんあとの人たちは、体の皮ふがむけている
人や、顔が大やけどして真っ赤になっている人を
たくさん見た」という言葉です。その人たちを「助けた
い！救いたい！」と思っても、助けられないという
かなしいことはないと思います。最後に、お
父さんのえいぞうを見せていただいて私は本当に
なみだかですうになりました。私は、これから
このようなことを知らない人にぜひ知ってもらい、
もうぜったこのようなことはしてはならない
ということを伝えたいと思いました。

つ づ き ↓

このようなお話はめったに
聞くことができないので

今日、このお話を聞くことが
できてとてもよかったです。

このことを、自分たちだけで
とどめておくのではなく、

後世に受けついでいける

といいなあと思いました。

本当に今日は、ありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

1/1

原爆先生、今日はありがとうございました。

私は、原爆の話聞いて、改めて、「今」を大切にしたいといけないなと、感じました。

私は、当時起きたことは「リプレイ」できないので、すべて想像でした。「キズぐちにウジ虫がうようよいる」「ふぶがはがれおちる」という時に、想像するだけでも背中がゾクッと、ヒヤヒヤしました。でも、実際に受けた人たちは、も、と、何百倍もつらいんだと思いました。

先生の話をきいていると、涙が出そうになりました。女性が手をななめにふきかけているところ(博物館の模型)を「きれいすぎる」と言っていたのは、その模写もかなりきたないのに、実際はもとむといたのか...と考えると、「今の自分」と「命」を大切にしたいです。私は深く「原爆」「戦争」について考えたことがなかったけれど、この先生の特別授業をきっかけに、これから、今ここに、自分がいることに感謝して生きていきたいです。本当にありがとうございました!!



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

ぼくは池田よしろうさんの体験談や他の原爆の話を池田貞徳さんから聞いていろいろと感じました。

まず感じたのは広島^の悲しさです。被爆した方たちには戦争に関わっていない方がたくさんいるのに、逃げる時間も与えられず原爆による強烈な攻撃を受けて死んでしまうなんてあまりにも優すぎると思いました。

二つ目に感じたのは原爆の恐ろしさです。太陽の温度ほどの熱線を受け、マッハ以上の速さの衝撃波を受けたら、人は確実に死んでしまいます。そして、もしその熱線と衝撃波を逃れても、放射線により下痢、嘔吐が止まらなかつたり、ガンになったりすることを知り、とても驚きました。

今までの二つの意見について考えると、ぼくは戦争をなくすのが一番

フグキ
↓

重要だと思いました。原爆を投下したのはアメリカだけけれど、日本とアメリカが戦争を開始したのが原因なので、どちらが悪いとは言えないと思います。

そしてこれからは武力ではなく、問題を話し合いで解決していくべきだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

原爆先生のお話を聞いて、改めて命の大切さについて学びました。池田先生のお父さんは実際にその原子爆弾が落とされた広島において、無傷だったけれど焼けて死んでしまった方や、生きていたけれどとてもつらそうな所を見たそうで、私がそこにいたらと思うとゾクゾクとしてきました。「皮ふがはがれおちた」など、そのような痛々しいことを聞くと、つい想像してしまい悲しい気持ちになりました。池田先生のお父さんは、命令に従って、川にいる死体を陸にあげたり、燃えている所の火を消したり、生きている人々を助けてあげたりしていて、みんな助けられて喜んでいるのではないのかと思いました。最後のお父さんの動画を見た時、泣いていたので、それほど悲しい出来事であったということがさらに深まってきました。池田先生のお話を聞いて、たくさんを知り、学ぶことができました。その中でも一番「命の大切さ」ということが心に残りました。なので今生きていることを誇りに思い大切にしたいと思います。たくさんを教えてください。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/2

池田さんのお父さんの義三さんの実体験をベースとした話が前半にあり、やはり資料館等で見られることとは違ウリアリテイを感じた。「人間ではなくなっていた」人々を目の当たりにし、吐きながら遺体を運んだ義三さんの哀しみが伝わってきた。広島を投下都市に選んだアメリカ軍の意図が分かり、今までぼんやりとしか理解していなかった原爆投下の真実に少しでも近づけたかなと思った。

後半は原爆のメカニズム、威力を主とした話が展開され、特に印象に残ったのは「太陽が地上600メートルにいるのと同じ」という話だった。太陽の表面温度は6000℃。それがいつもは1億5000万キロメートルの彼方にある。それをはるかに上回る7000℃の物体がスカイツリーより低い場所にいる。想像を絶する話だった。

僕は広島に3年間住んでいたが、原爆投下の跡などこれっぽちもなかった。今、戦争体験者が急激に減っている戦争の話は風化させてはならないのだ。今日貴重な戦争の話を聞いた僕たちがすべきなのはこの話を次世代に語り継いでいくことではないか。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日はとても貴重なお話を聞かせていただき、有難うございました。義三さんたち第2班のお話、とても印象に残りました。爆発時・爆発後の義三さんたちの行動、感情や広島の様子がよく伝わりました。リトルボーイや候補都市の事情も分かりました。広島や原子爆弾が分解されていて身近な事のように思えました。写真や池田さんの動き(実演)もあって分かりやすかったです。原爆資料館で義三さんが言った一言「きれいすぎる」に強い衝撃を受けました。はきが見えませんでした。かかろは指が長くただれていました。それでもまたまた表現できていないと聞いて驚きました。今すべき事は「後世に語り継ぐ事と戦争をなくし起こさない」事だと思います。それは、一人一人の意識が関わっていると思います。今回は初めて知った事と改めて思った事がありました。その2つを大切にしていきたいです。本当に有難うございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

11/1

ぼくは、原爆先生の話しを聞いて、ぼくが
 思っている以上に戦争は悲々な非害をもた
 らなんだなと思いました。原子爆が落と
 されて町を歩いている時人間とは思えない
 ような人がいたときいてゾクゾクしました。
 川に残されていた死体を片づける時に
 義三さんは死体を運んで燃やしてい
 たという話を聞いてもし自分だったら人
 間の絶体にはやりました。その時義三
 さんは、どのような気持ちで死体
 を片づけていたのかかともも思いません
 でした。また、アメリカの探偵士は原爆の
 い力を見て足がふるえたというところを
 聞いてアメリカの人と日本人の平和
 を求める大切さは変わらないこと
 が分かりました。原爆先生のおかげ
 で戦争とはどういうものか、人が
 を殺すとはどういうことなのか、か
 がりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生(池田真徳^{ちん})の特別授業を聞いて原子爆弾で都市大切な人一気にすべて失うなんて私は「そんなことは無理だ」と感じました。原爆先生が話す原爆の話は思っていた話よりもずっと痛々しい内容でした。聞いている内容の話を頭にイメージしながら聞くと、あまりにも残酷すぎて、正直悲しすぎて聞くのがつらかったです。でも「原爆」はもう終わったこととは考えてはいけません。原子爆弾というのは大人になっても忘れない心に残しておくものだと思いました。私はお母さんに、「熊本に原子爆弾が投下される、って時があったんだよ」という話を聞きました。熊本は九州の真ん中で原爆が起きるはずの所だったそうです。でも天候が悪く原子爆弾がもし投下されていたら...と考えたらものすごく怖かったです。私が原爆先生の話を聞いて印象に残っているのは、原爆先生の父、池田よしぞうさんが原爆資料館に行き、熱線でひる、がやけただれられている女性の

人形を見て「きれいすぎる」と言ったそうです。
私はそこがとて心に残っています。

原子爆弾はあってはならないもの。

原爆は起きてはならないこと。

私は安心してくらせる平和な世界でありたい
と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

始めは、ワクワクしていました。でも、話をきくとたんに、そんな気持ちがあつた感じがえされました。「はたしのケラ」も読んだことがあったけど、原爆のおそろしさを、改めて実感させられました。お父さんの話をして下さって、九日間の様子がいよいよよくわかりました。被爆者の当時の気持ちを想像するだけで辛くなってきます。平和だった毎日が、いっしゅんで変わってしまうことはとてもつらいことだと思います。私は、ふたつの生活に感謝しなければならぬと思いました。原爆のくみや、温度までわかりやすく説明してくれて、とてもよくわかりました。地面の温度が、3000℃になるということにとってもおどろきました。私は、実際に戦争を体験したわけではなけれど、祖父母から教えてもらったこと、そして今日教えてもらった原爆のことを、次の世代に伝えていきたいと思ひます。また、いちどは広島に行つて、原爆ドームをこの目でみてみたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

11/1

原爆先生、特別授業ありがとうございました。私は、お話を聞いていろいろな事を学びました。国語の「平和について考える」、社会の「外国との戦争について」、今回の特別授業があり、改めて、「平和」について考えることができました。爆心地から逃げてきた人々の姿は、「人間なのに、人間のようじゃない」というのはとてもおどろきました。そして、「助けて...助けて...」と言っている人々、それを見てることしかできない兵士たちのことを聞いてむねが痛みました。広島原爆で苦しく、悲しい思いをした人は、たくさんいて、原爆を二度と使ってはいけないと改めて感じました。経験して^{そして}いない私達が語り続けることが大切なんだと思いました。最後に見せてもらった池田さんの動画を見て経験した人の本当の声を聞いて、私は涙を流してしまいました。動画で池田さんが、広島原爆のことを思い出し、泣いてしまっ^{とても}て、苦しく、悲しい気持ちをした

ことが伝わってもらい泣きをしていました。

勝手に涙が出てきて、自分でびしょ濡れしてしまいました。私は今回の原爆先生の話聞いて本当によかったと思いました。今回、教えてもらった事を一生忘れず、私が大人になったときの子どもに教え、と語り続けたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

私は、原爆先生の前半の話聞いて、平和のとりでを築く
を学習をしたときの想像を、はるかに上回る被害に、おど
ろきました。今では考えられもしないような悲惨なことを、
戦争に何も関係のない子どもからお年寄りまでの人々が被
害を加えられたことを知り、改めて戦争は絶対にしてはいけな
いということを感じました。アメリカは、原子爆弾を投下する都
子の条件として、「直径5kmを超える都府であること」、「平野である
こと」、「今までに空襲の被害がなかったこと」という3つの条
件を定めた上で、投下する都子を決めています。この条件は、
日本により大きな被害が加わるようによく考えて定めら
れたもので、この条件からアメリカの石井研究者たちが、ど
こに投下するかを決めています。その候補となった都市が、
「広島」、「小倉」、「長崎」、「横浜」、「新潟」、「京都」でした。京都は、広
大な平野で、家や建物が密集しているので、より原子爆弾
による被害が大きくなると言われていたが、京都はとてもさ
い街で、遺産になるものもたくさんあったので、京都はな
くなり、「広島」、「長崎」に決まりました。この世界中のどこに
も、原子爆弾を落としていい地域やないのに、戦争では、自
らたちの国が勝つために、一つの爆弾でより被害が大きい

くなるようにして、戦争に関係のない人たちまで"とんとん"ころして
いってしまうのは、とてもひどいと思いました。だから私は、戦争
は絶対にいやなので、日ロ力が暴力をふるわないでよとの努
力をし、平和の道を歩んでいきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

今日の授業で改めて原爆の恐
 しいことを思った。特に太陽の熱さが東京
 スカイツリーの所の高さまで接近し
 たというところにはしるべき的で印象
 に残った。もう一つ印象的なのは元
 川の川の水が熱いし死体であふれて
 いたとだが本人が「人間か人間では
 なくなる」ということから想像するだけ
 で怖かった。特に皮膚がズル、とむ
 ける人間が茹で上がっている。なには
 聞いたばかりでぞくとした。そして戦争
 がとれかけ恐ろしいことを知り原爆を開
 発するのも人間で被害を受けるのも人間
 だということを感じ、平和記念ひが有るよ
 うに平和を大切にしていきたいと思った。
 そして原爆や戦争がもう二度と無
 くない平和の世界にするためにはなにした
 めもことを少なくすることも大切だと思
 うので、できる所からやっていこうかと思



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/1

とてもためになる話になりました。いまでより深く原爆について知れてよかったです。特に長崎のところに落とした原子爆弾の威力はあと少しアメリカ軍のあの威力があることが早ければ長崎はあのようにはならないという確信しんがもてるようでした。ヒロシマのところも原子爆弾を落とすにあんなふうにはなうなかなと思います。早く戦争を終わらせようとするべきです。今までは戦争・原爆のことをあまり思いませんでした。でもこのことをおぼろげに後世に伝えていってほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/1

原爆先生の話聞いて私は、こ
わいなと思いました。原爆先生
の話の中でも特にこわいと思っ
たのは、爆心地から近い場所ほ
と被害が大きく、爆心地の真下
で外に出ていた人は、いっしょん
で消えてしまったということでした。
子供を連れていた人は、バラ
バラになっで消えてしまったり、
すわっていた人は、すわっていた
ところに、黒いシミだけが残っで
いたということもこわかったです。
私は、実際に見たことも行ったことも
無い場所だけれど、原爆先生の話聞いて、
広島、長崎が、どういう所なのか、
原爆が投下されたときの町の人はいか
う気持ちだったのか、深く考えてみ
たいなと思いました。これから行ける
機会があれば、行ってみたいで
す。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/1

私は原爆の話聞いて、とても
悲しくなりました。広島にお
とされた原子爆弾のせいで何
万人もの人がいっしょに命をなくして
しまったのはとても大変なことなので
私たちのような児童などを体験して
ない人も、広島が「発」の原子爆弾でど
うだったかはしっかりと覚えておくとい
うことだと思います。^{お父さんが}実際に体験したことを
話して頂いた時に私は何度も泣きそ
うになりました。話を聞いているだけでも、
こんなにこわいのには原爆や空襲に合ったら、
いいたいとこれくらいこわいんだらう。そう思
いました。前に学校で「平和について考えよう」
で「平和のとりでを築く」というのを読みました。
その時うけたしょうけきは、すごいものでした。今回
この授業をして、そのときうけたしょうけきはたいした
ものではない、そう思いました。「平和のとりでを築く」に「人の
心の中に平和のとりでを築かなければならない」とありま
した。か、その通りだと改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

私はエノラ・ゲイは、機長の母の名だと聞いてびっくりしました。戦争で使う兵器にお母さんの名前を使うなんて、私はしないな、と思いました。

ひ爆でひふがズルッととれたと聞いて聞くだけだったけど、ゾクッとしました。でも、戦争中にはそれがふつうのことと、な水でいたと聞いても、とゾクッとしました。や、ほり人のな水はおそろしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

今日、原爆先生の話を聞いて、なんとなくしか聞いた事のなかった原爆の事をくわしく知りました。特に、地面の温度が3000℃にもなったということにはとてもびっくりしました。人間が黒こげになり、鉄が溶ける温度よりも高い温度になるなんて考えられないし、原爆はとてもおそろしい物であると改めて感じました。先生のお父さんの話も心に残りました。原爆が投下された時後ろにあ、たドラムかんによって命が助かったという話を聞いて、とても運がいいなと思いました。他にも、原爆の標的となった町は、広島と長崎だけでなく、小倉も第二の標的となったという事を初めて知りました。広島と長崎に落とされた原爆は、同じ物ではなく広島の方はウラン、長崎の方にはプルトニウムが使われているという事も知りました。原爆について、いろいろ知ることができました。今日学んだ事を、これから社会で習う戦争の学習に役立てたいです。そして、平和の大切さについて考えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 1

改めて、今日、原爆のことについてくわしく
話して頂き、自分が思っていたことよりも、は
るかに悲しい出来事でもとも心を痛めました
た。特に、広島に投下された原子爆弾は、
太陽が地上600kmまで来たと想像すると、
ものすごい熱線だと感じました。また、爆
心地から150kmの場所にはいた人が生き
残ったという話を聞いて、「こんなあれはす
た中でも生きのびた人がいるんだ」と思う
と、とても感心しました。もし自分がこの時
広島に居て、被爆していたと想像すると、
すごくぞとしました。今回は、広島市の入
口のから約5kmに人が被爆していると言え
ると決して広島の人には忘れない出来事であ
ると思います。私たちが二度と忘れることの
できない広島市への原爆投下(長崎も)は
とてもむなしいことだと感じています。切なく
思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦争をした日本もひどいけど「小さな
太陽」を落としたアメリカもひどいと思
います。神になろうとした人間が許せませ
ん。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

原爆先生の話を聞いて知ったことは、原子爆弾が爆発したときに水の中にとびこんだ人々は、みなゆであがってしまったほどの熱線だったということなです。原子爆弾が投下される条件は3つあり、1つは、直径5kmを超える大きな都市であること2つめは、平野であるということ3つめは今まで一度も空襲がなかったということです。エラ・ケイが原爆をまりはなした地点は、広島市から約6km、高度9632mのところからで、広島市の上空(高度600m)で爆発しました。そして、爆発したあとに、直径200mの球体ができ、その中心温度は100万℃にもなりその外側は7000℃、600mはなれた地表は3000℃にもなり、これは太陽をこえる温度と原爆先生は教えてくれました。他にも原爆先生は教えてくれました。ほくは、原爆先生の話を聞いて一番心に残ったのが「最初に書いた文でした。なぜなら、原子爆弾が川の水で人をゆで上げるほど熱かったということが分かるしその川に飛びこんでしまった人々の数は重なり合うほどの数と言っていたので原子爆弾のいりよくを知ることができた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/1

今日、原爆先生の話聞いて私は広島であつた事について、くわしく知れました。アメリカの人たちは、原子爆弾投下都市の条件を決めていたというのを初めて知り、とてもひどいことだと思いました。第一、二、三と候補があつて、天候によって落とす場所を変えてやるというのに対して私は、とても無責任な事だと思いました。落とされたときに、何十万人もの人の命がなくなるということも、軽く、簡単にすませているような感じがしました。この原爆によつて、被爆者数が24万人、死者数14万人（死亡率40%）の方たちが被害にあつていて、とても悲しいことだと思いました。5人に2人が死亡したという、多さにとてもびっくりしました。私は、一生この原爆のことを、わすれてはいけないと思います。このことからたくさんの方の事を知って、いけるといいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11

原爆ドームについては少し知っていましたが
 実際原爆についてはあまり知りませんでした。
 でも今回体験者の話を聞かせてもらって
 ことができて良かったです。

広島原爆について、爆心地の近くで爆
 音とはいえないほどの被害者 凄惨な状態が
 た。手を取りトラックの荷台にのぼることで
 ぶか、はかれるとでもひきんで、そのようなこと
 まで耳たうたのでしょう。惨状でした。そして爆
 心地の真下は、熱い熱い熱い熱い熱い熱い熱い
 太男と同じく、爆心地の真下にある、
 というところなので川の水が蒸発 熱い熱い熱い
 しくなると感じました。そして強烈な熱で、
 瞬間的に溶 けかかると粉 塵が舞い
 上がったように感じました。そして強烈な熱で、
 体が溶かしてしまいました。

今回受講して原爆がどうなるかは日本が
 最初原爆を落とされた国で、自分がもし
 被害を受けたらと考えると、心が苦しくなる

めるはずなので、このおそくしさを、経験者が残
っていく中で、若い人たちが伝えていく必要がある
と思います。今、生まれている人たちが、なかなか未
時の世の中で、就労を求めているのに、なかなか
見つけていないという状況です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ずっと前から原爆のことは知っていて
が今回話を聞いてより原爆がもたら
すいささを感じた。また、原爆がお
とされるまでは知ってはいなか、たので知
れてよかった。また先生のお父さんの日
記の話は聞いただけでゾッとして
そんなことにした原爆が日本に2
つもおとされた。そう考えたら二度
とあってはいけないうる思う。これを人
類の歴史で1番忘れてはいけな
いことと、これを50年でも100年でも伝え
られたらこれからかくを使われ
ないことを信じていきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1(金)

私は今回 原爆先生の話を聞いて、感じたことがあります。それは、「もう、一生世界のどこでもこんなことがあてはいけない」ということです。いままで私は、親などから「戦争はこめいから、いけないんだよ」と言われてきました。それもあり、私は「戦争は木くなく、そう思っていました。が、どのようなことをするのかわよく分かっていませんでした。なので、今回、お話を聞くことで、どのようなことがあったのかなどをくわしく知れたので、よかったです。また、とても悲しい気持ちになりました。なぜかという、たすけたくてもたすけられない悔しさ、原子爆弾への思いが、命がたからです。原子爆弾の放射線や、熱風により、人々は、一瞬間で生命をうばわれたというのは、どうにもできません。そう思うと、たすけたくてもたすけられないというのは、どなたか、くわしいかというのをかんじるのができました。この思いは、私が前に原爆ドームや、資料館を見にいた時と同じでした。その時、「どうして、その被害に合った人たちは、こんなに悲しくならないうけないんだらう」と思ったり、言葉にはうまく表しにくい気持ちで、いっばいになり、悲しいけれど、悲しくないような、スッキリない気持ちを感じました。

これから私は、今回のことを、してゆすめず、これからに生かしていきたいです。今日、お話ししてくださった本が、もうないのはざんねんですが、これから、戦争についての本をもっと読み、よくしり、ここからの平和についても、社会の学習につかり、平和をめざすために生かしていま

たいです。今日の話はためにならねえ、知らねえこと、たてさん
しるべえができてよかた。平和にならねえという思いが、い、もう
強くなると思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/1

私は、池田さんの話を聞いて分かったことは、池田さんのお父さんが昔、原爆にあつたというこの話をしてくれました。最初に先生は、大人になっても忘れられない話と書いていました。そんなに苦しみや悲しみの強いことは、今までにならなかつたのでしっかりと聞いたリメモしたりました。8月6日に起きたと日本の兵学校隣ぐん、海ぐんと江田島にはいろんなことがあつて、池田さんそのころ兵隊でした。その池田さんは1時に入つて、広島の方へと指しがでた時の池田さんの気持ち、少し不満があつたと思います。エノラ・ゲイという5つのばく発のものをおとそうと思つた順番は、①広島②小倉③長崎という順番でおとそうというけいかとはとてもおそろいなと思つました。その落とせる所には条件があるということ、その③番へ平野というのは、その土地が平野ではなかつたにも原子爆弾が落ちないのかな？と思議に思つました。このことで、学んだことは約9600mの所から600mのちてんで、100万といひ7000℃もあり、太陽の6000℃よりもあつたので、その火ばくをうけた人は

いっしょんのうちに消えてしまうということは、とても悲しいこと
だと思いました。1秒ももたないうちに、ふきとばされ
たり上空からのばくふうだたりと爽々にうはわれてし
まうので、「あー」となってしまうぐらいもうその感情も
なく一生に残る心のすみにある所にこのことは忘
れられないのだと思います。目標の所についた
200mはなれて落ちることこそとても爽いなと思いま
した。でも、私が一番悲しいと思ったことは、2発目の長崎
に落ちたということ。小倉に落ち予定だったが
天候のためにはじめに長山崎でやることにし
たがまた天候が悪かたので、やめようとした時、
少しの間、雲がなくなって長山崎が見えておりました
ことがしょくでした。私かと思ったことは、この時
にやめてたら原爆が落ちなかったなと思いま
した。市民はピカドンとよんでいる物があります。

それは原爆のことです。それは。ピカと光ってドン
となるからです。そのことを聞いて、そのぐらい怖
いという気持ちから「ピカドン」で伝わってきました。

ピカドンは毎秒500mで音速の350m/秒より
もとても速いということによく分かりました。でも、
原爆ドームに行きた人は全員亡くなったから「局」
という所のMレにいた人は助かったといえます。
そのことを通して、密室の所だと被害が少ない
のだと思いました。広島のはびく者数は24万人、
ではびく率は70%です。死者数14万人で
死亡率は40%です。私は、池田さんが伝えた
から原爆のことを息子さんに世界の人たち
に昔はこのように大変な時期が来たとい
うことを伝えたからたのだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

わたしは話を聞いて、とてもゾクッとする感じを味わいました。原爆の被害は前から知っていたけど、体験した人の表現はとても恐しくて、やっぱりちがうな、と思いました。特に「皮ふがただれて…」という部分は、想像しなくなるほどの恐しさでした。また、そのことを体験した人がいると思うと、もっと恐しくなりました。わたしは、話を聞くことで「もう二度と人と人との殺し合いがなくなるようにしたい!」という気持ち、決意が生まれたと思います。話を聞いて、戦争のときのことは体験したくない!!と心から思いました。その気持ちをわすれずに、日ごろから平和のことを考えながら、行動していきたいと思います。世界には、まだ戦争している国があります。その国は、今までの日本などがたどってきた道から学び、今すぐ戦争をやめるべきだとわたしは思います。だから、この戦争のことや原爆のことを後世に伝えていくことも大切なのかな、とわたしは思いました。

そして、原爆についての説明では「人間が人間を殺すためにこんなものをつくったのか…」と感

じました。また、なぜ人間は自然と人間にこんな
に、き害を加える原子爆弾を作ったのか、わたし
は疑問に思いました。当時の世界の動きにも注
目して調べてみたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業で思ったことは、原爆は「こわい」ということです。話を聞いていて、その当時の様子がとても思い浮かんできました。原爆のせいで、広島市だけで14万人がなくなりました。もし私がその現場にいたら、いっしょに生きていた人を見て、こわいと思うと覚えます。こわいどころではないかもしれませんが、ゴルフボール1つが14万人もの命をおとしてしまうと考えると、やはりこわいことだと考えます。原爆をおとす候補になった都市②の小倉は、運がよかったんだと思います。長崎は、あと少しのところでした。たくさんの命がなくなりました。人はなぜ人を殺すのだろう、なにがきっかけで殺そうと思うのか、理由もなく殺してしまうのかと思いました。こういうことを考えると、今は平和と考えることができると思います。原子爆弾はその人の位置で、命が救えるか救えないかが決まるんだと思いました。熱線をおさぐれものがなければ、いっしょに生きてなくなってしまうけれど、建物だったらまだ助かる可能性はあるんだと思いました。

私は原爆 先生の話 を聞いて、争いや人がなくなる
ことはおそろしいことだと思いました。

平和はやっぱり大切で、人一人が人を想って、い
いけなうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今までお母さんやお父さんから、原爆という恐い核兵器があつて広島や長崎などはとてもひどい被害があつたんだよという事は聞いていたけれど、実際はということだったのかはくわく知りませんでした。けれども、実際に見た人からお話を聞いてより、ひどかったというのが伝わり、実際のところアメリカはどのような作戦をたてていたのかどうかが分かりました。数字で表すと被害がどのくらいあつたのかすぐ分かり、鉄や建物がどのくらいの温度たたくずれてなくなつてしまつたのかどうのと比べるととてもひどいことが分かりました。私は、一回だけ「ドン」と音をたて放射線、衝撃波、熱線がおそつてきてとんとん丸がりこのような状態になつたのかなと思つたけれど、地面にはねかえつてきたのもとんとん丸がつてゐたと知つてそこで命をうしなつたと思つたらあまりにも悲惨すぎるなと思つました。最後にお父さんの話を聞いて泣きなから話してくれて、確かに大変な作業をしなから苦しんでゐる人の少ししか助けられなてみすてないといけな人かゝいるというのは自分をおににたしててもできないなと思つました。若い人たちは原爆という言葉を使つてゐるけれど、一つのことばにいろいろな思ひが込められてゐることを知つて違ひでは絶対にいへないといふと改め

名前 ()



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この授業を通して思っていたよりも悲さんであったと分かりました。私はいままで他の国の戦争や、昔の日本の戦争をひとごとだとずうと思っていました。でも、こんなに悲さんなものだと知り、ほといいはいられなくなりました。まずは他の国への支援(ボランティア)から協力していきたいなと思いました。

今日の授業で一番おどろま-おそろしかったことは、原子爆弾が爆発したとき、太陽が自分の上空600mまでの近くにきていることと同じ感覚であるということです。熱線、衝撃波によって人があ-という間に焼かれ、あ-という間にくだける放射能をあびてしまうと病気になってしまうため、本当に原子爆弾はおそろしいものだと思います。また、原爆先生の話にあった、被爆者が「兵隊さん、助けて、助けてい-る」とうめき声をあげながら助けを求めていたことが、あまりにも切なくてかわいそう-でとても心に残りました。「平和のとりでを築く」でもやりましたが、原爆のこわさ、おそろしさを後世にうたえかけるため、「負の遺産として「原爆ドーム」が世界遺産にとうろくされました。戦争の悲さんさを思い知るためにも、原爆ドームに行きたいと思いました。そして、戦争を体験した池田しん徳さんのお父さんの話で心に残ったことは、「原爆ドームでも悲さんさが伝わるが、も-と生れ

原爆先生の特別授業を受講して

くて、つらくて、悲しかった」と言っていました。そして泣いてしまうほどつらくて、それでも被爆者を思っている思いやりの気持ちが伝わりました。私は、池田しん徳さんのお父さんの「戦争はもういやだ、平和な世界にしたい」という気持ちを、いつまでも忘れないでいきたいです！

平和主義 引き継いでいこう いつまでも

悲さんだも戦争は したくない

ボランティア これからやる！ 国救う

切実な 「助けたの声 切ないな

人間が 原爆により ぐだけちる



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の話を聞いて前までは原爆の事は少し知っていたけれど話を聞いていて、とても悲しくなりました。本当に原爆ドームを見た人の生の声もきけたので、めったにない機会だなと思いました。池田さんが広島市に行く時、被爆者が「たすけて... たすけて」といろいろな人が言っていて、トラックの荷台にのってきたと聞いて、とてもかわいそうに思いました。また、被爆者のほとんどが人間なのに人間ではない人がほとんどと言っていて私だったら怖くて助けられないと思うけど池田さんは助けていたのでスゴイと思いました。

また原子爆弾の威力や放射線が体にどんな被害をもたらすかをおしえてもらったので、より、原子爆弾がどんなに二度と使ってはいけないということが確しんできました。

池田さんがTVで話をしてくれた時、とても感動しました。また涙きながら話していた所は、心を打たれました。私は原爆先生から聞いた話をこれからも忘れないで心に残したいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の信舌を聞いていたから、
そのことをあおぐりくわしくはないけど、悲
しい気分になってきました。その理
由は、2つの事です。まず、1つ目はヤケと
をおおった、住民はいつうに歩いてい
ると、おきのところがかがすれてしまい、
痛いから、おほけのように両手を前に出
して歩くと言うことです。もう一つは、
広島県の住民の40%が、死んでしま
たと言うことです。リトルボーイが落ち
てき、多くの死人が出ました。そしておつ
自分で思たことが、原爆先生が言ってい
た、町がボロボロになり、死人が多くな
ると言うことで、町がボロボロと言うの
は、家などがすげなくなると言うことだ
となのでなせ、そんなことをした人が
いるのか、不思議に感じました。しかも
死にまで出させて、その40%が死人に
なってしまったので、そんなことは考えられな

11と申します。これからほ、そんなことか無、は
うに、平和な町が良いと思、います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

げんばくは使、てはいけないそれじ
 じゅけんしたいためしたいというか
 るいきもちでげんばくをつかうな。と
 いうこと、広まただけではなくたか
 せんも原爆をおとすたんで悪いも思った。
 ・げんばくをつかえば多くの人か
 ぬたからいろいろな人の手助けをしな
 くてはならない自分はそうか
 いろいろなつみのない人かまきこま
 たまきこんだというのは悪いも
 思った。
 ・つきたいの人やまきこま
 た人はやろうとはしていな
 かのげんばくはそういうもの
 につかうべきではないま
 ずつかうはいけない
 のだ。な。と思いました。
 ・おりにくもないてを
 やらせるそういうもの
 になりえろで自分はこ
 りいげんばくはいろいろな
 人をまきこんだのだから
 それだから同じこと

をしてほしくないも
 と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、特別授業を受けて、原爆のおそろしさをもっと知ることができました。今まで原爆は、やけどのも、とひどいばんで、いろいろな人が苦しむだけだと思、ていました。でも今日のお話で、人は一しゅんにして燃え、ひきはぼろぼろになり、川も熱湯になることを知り、原爆でその町や村、川お人がなくなることを知、てこわくなりました。

このお話を聞いて、もう一つ思ったことは、自分たちは、平和で、とてもうらやましいぐらいの生活をしていたということです。今のこの生活ができていることを、うれしく思いたいです。私は、このお話を聞いた内容をよくおぼえ、紙にまとめたりして、平和の学習にいかしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私が一番印象に残ったことは、原爆の「破かい」する力の恐しさです。原爆は、建物や木などだけでなく、人間も消すことができ、消えなくても、人間ではないような姿に変えてしまうことかすごくびっくりし、こわかったです。本の内容を聞いていたときは、本当に原爆はいやなものだなと思いました。なせなら、何も悪いこととしていない人も、消えてしまったり、人間の姿ではなくなってしまうからです。そして、多くの人の命を落したときだけでなく、後になってもうはっていきからです。私は、やけどを負った人のひどい姿を聞き、想像するのもこわいくらいでした。しかし、こわかったのは、いっしょにして広島を破かいした原爆は、全体のたった60分の1しか爆発していないことです。もしも、全部爆発していたら、47都道府県がすべて破かいされてしまうのではないかと思います。原爆の「破かい」のこわさを感じました。私は、原爆はいっしょにして町も、人も夢も破かいし、飛行機の操縦士も身ぶる、るるのように落とした方もいい気持ちにならない損害無益なものであり、この世界にあってはならないと強く感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は今回の原爆先生の話とまいてあらためて
 原爆はすごいものだなと思いました。中心の温度
 が約100万Cで表面の温度が7000C。それを聞いて
 ひびきました。太陽よりもあつく近くにいた人
 は体内の水分子が-14人でなになり-14人で
 -10人で生きるくらいなのだとすごい力な人だ
 と感じました。また、熱線だけでなく放射
 線は広島約70%の人がひびきして
 原爆がとう下されたその時はさすがにも
 あとからしょうじょうがでるので、原爆は熱
 線、しょうけきは、放射線ともにもう一つは力
 があつくてすごいと思いました。和は日本は
 終戦したのでもう原爆がとう下されることはな
 けれどこのことを忘れずに伝えて、この後
 にこのようなことがあつたないようにしたい
 です。また、もし広島に行くことがあつたら原爆
 ドームとかを見たいです。写真でしか見た
 ことがないのでひびきとあつたあつた物を
 見たあつたあつた。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

ぼくは、今日の原爆先生の特別授業を受けて、とてもよかったです。

池田さんが話してくれた、池田さんのお父さんが体験した原爆のむげいの言葉は、本当に悲しくて、おそろしいものでした。1回の原爆で広島、長崎の町が何もなくなってしまう、大勢の方が亡くなってしまうなんて、とてもおそろしいことです。生き残った人も放射線のせいであつと苦しみをから生きていました。

そして、ぼくたちの住んでいる、すくなくりの横浜、新潟、京都など、日本のどこにあつてもおかしな感じがして、もっとおそろしくなりました。

ぼくは、こんなおそろしいことは二度とおきてほしくないし、原爆をもう一回作つていけるのは、不必要だと思いました。

ぼくは、夏休みに、原爆のまくとうを（た）平和口のちかいでたてたりしているテレビを毎年見てはいますが、お願いが世界じゆうに広まって平和にならなはいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

16 / 1

ほくは原爆先生の特別授業を受講して、原爆の口では伝わらないほどのおそろしさ、被害者たちの多さ、数えきれないほど失なえたものがあつたと思います。原爆先生の話を聞いてそう思いました。ほくは、原爆と聞いても、あまり自分とは関係の無いことだと思つていました。なぜなら、教科書にのつてゐる「平和のとりでを築く」などは当時のことを書いているだけなのに、説得力がなかつたからです。原爆先生の父は、広島で原爆の体験をしました。実際の体験、何をどう思つたかが分かりました。

原爆先生の特別授業を受講して原爆は人の命もうはつてしまふし、死んでしまつた人たちを悲しくもいます。今回の原爆先生の話を聞いて戦争の話も思い出しました。原爆も戦争も被害も悲しく人も同じだと思つます。その「平和のとりでを築く」をとり入れたらと思つました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/1

ぼくは原爆先生の授業をうけてあらためて
けんぼくのおそろしさを思いました。けんぼくは
何人もの無実の命をうばいます。命は一生に
一度のものであす。それをはかしてあいつの命を
何十万もうばいました。そして生き残った人々も
いつかは亡くなる。それまでたえていた苦し
さ。そんなひどいことはいけな^いいと思^いました。戦争
をしないで人々は平和を大切にしなければい
けな^いいとも思^いました。平和のかけなでやったと
おりに人は武器をすて争いのなく平和な世を
くりあつたのと思^いました。そしてけんぼく先生
からおそろしたおそろし、かさし、むなし
さを忘^れずにはけんぼくはいけな^いいともい^えな^いい
ことだと思^いました。そして平和をい^いするた
めに自分のことからあてしずつかえてい^きたい
です。そしてけんぼく先生からき^いたことはとて
ま^じな^いのでし^て、かりしょうらいにはおぼ^え
ておきたらと思^いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、とても怖くなりました。理由は2つあります。

1つ目は、原爆がどれほどおそろしいかが分かったときです。太陽と地球がこんなにはなれていても温たかさは感じ、暑い日もあります。そんな太陽が近づいてきたときよりも温度が上だとはおどろき怖くなりました。また、「衝撃波」もおそろしいです。真上から衝撃波を受けた人が、こなこなになってしまうとは、とてもおそろしいです。また、これらのことが一瞬で起こり、1秒もたたずになってしまうのが怖かったです。

2つ目は、受けた人たちの状態です。筋肉がむき出しになっていたり、皮がはがれてしまうと言われ、想像すると、とてもおそろしいです。また、経験したことがある人が、館内のものを見て、これはがさしいと思うと言われ、びくりました。とてもひどい状態なのに、もっとひどかったというので、想像すると、とてもおそろしかったです。なので、ぼくは怖くなりました。原爆は2度と使ってはいけない、と改めて強く感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は池田先生の話を聞いててもかなしくなりました。原爆のせいで人間が人間とは思えない凄惨になり、広島では人口35人で被爆者24万人、死者14万人、死亡率はなんと40%にもなりました。この出陣だけでもこんな惨状なことです。私たちはいま普通に生きています。しかし、火暴心直に行ったら、一瞬で消えてしまうそんなおそろしい物があるなんて信じられませんでした。体の水分が蒸発しこの世からいなくなってしまうなんてとてもおそろしいと思いました。地上600mふさぐと、火暴心直をするとき地面(おぼろげに地上)は3600℃にもなるそうです。火暴心直ではなく、少しはなれた所にもいたと、体じょうがあつくなり、ひょうかど水人間とは思えないすがたになってしまいます。そして冷たい水とひょうこんでも、人があつすぎると、うっとうし蒸発してしまうそうです。私は、そのことを聞いて、それを見た人はとても、苦しく、にくしみ、かなしみの感情があふれたいと思います。とてもでは、言いきれないほどのあつさをあじわった人たちを助けられないくやしさもあつたと思います。そして、それをたいげんしてなりました。人々はとてもがたいそうです。今の日本は、この時よりも平和です。いつあつるかも分かんない。二度とこのようなことはあつてほしくないと思います。そして、このことがあつたことをおぼろげと先までつたせて、単世争を一さいしないて、ちかてほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は今回原爆先生の話を通して、人々や動物の命の大切さと、人々の思いを学びました。原爆先生のお父さんは、実際に軍隊に入ってからさや苦し、悲しさも体験していました。きびしい訓練と命令をクリアし、さまざまな感情を味わっていました。人々とふれあ、たときのかんしゃくや、人々の泣くすがたは、つらかったと言っていました。私はとてもむねがいたむような思いになりました。

とてもつらく、大変な思いにたえた人はすま"いと思いません。また私は軍隊の人々に対する思いによって学ぶことができました。人を1人でもすくうために、自分を使って知恵をつか、て人をすくおうという努力と協力をしていました。リーダーを中心としたり人くらしいの人たちが、さうさくも、広し土地にしてとても大変、さうなさま"よう"でした。なのに、約7人1人1人が積極的に責任をもってとりくんていたことが印象的でした。人のために行動をし、自分にも良いことがか、しづれることが分ったので、私もこれから人のために責任をもってとりくむことと、人の思いを考えることの2つのことを主に大切にしていきます。

また、この2つをまもりコミュニケーションをさげやしくり、また"いと思っていました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

1/1

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて、
 いままで「はたしのかん」で戦争と原爆のおそ
 ろしさを知っていたけれど、広島にとうか
 き来た時に、爆心土壌にいた人たちの
 話を聞いて、原爆のおそろしさをあらためて知
 ることができました。そして、原爆は、
 人にとって、とてもおそろしい物で、ほん
 とにひどく使ってはならない物であ
 ることを心にたくましくおぼえてい
 きました。原爆は、とてもおそろしくて、
 多くの人々が死んでしまいました。
 もしもつぎに戦争がおこるなら、とめておけ
 てみんなをしっかりと守ってほしいかと思
 いました。

ぼくは、爆心土壌にいた人たちの
 話を聞いて、原爆のほんとうの怖い
 ところを学びました。そして、人への
 ひかいは、とてもおそろしい物
 なので、ひどく使ってはならないで



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

僕は今日の原爆先生の言話を聞いて、原子爆
 弾の大きさを知りました。また原子爆弾投下
 の場所の範囲が、直径3kmを超える半径であ
 ると初めて、ゆいゆいおたところといた、て
 きとうなおたたなと思いました。また、広島に投下
 された「リトルボーイ」という原爆は太陽より1000°
 あつい7000°とあったときでもなかりました。そして
 それが、600mのきまりで、上から落ちてきたといら
 のは、びっくりしました。被爆した人は、いっしょんにして、
 やけどしたといっていたけど、そうそうかつきまらな
 した。また、やけどしたひんが、はがれおちるこ
 とをきくとでもざんこく たなと思いました。ほか
 にもざんこくたなと思。たころは、原爆1kmのおきに
 ちかちか人のじやうけ、川のおうになつたと聞いて
 ざんこくたなと思いました。そして、今日聞いた話では
 いぬてらたことは、しかりわすれず、これからでもいか
 せのことか、おれは、生かしていき、この話で教
 えたことは、大切にしていきたいです。

